

ウォッチ 操作ガイド 5744

目次

安全上のご注意

本機について

- 各部の名称

- 文字板と画面の表示

- モードを切り替える

- 各モードの概略

- 針を一時的に移動する(針退避機能)

- 暗い所で時計を見る

- 本機の便利な使い方

スマートフォンと一緒に使う

- 準備する

- 時計の時刻を自動で合わせる

- モードを設定する(モードカスタマイズ)

- 時刻モードの画面表示を設定する

- 歩数関連のデータを見る

- 現在の位置情報を記録する(ロケーションメモリー)

- メモリー地点までの距離と方位を確認する(ロケーションインジケーター機能)

- 自動で高度を補正する

- 移動した場所の高度と経路を記録する(ミッションログ機能)

- ワールドタイムを設定する

- 針の位置を補正する

- スマートフォンを探す

- 時計の各種機能を設定する

- ホーム都市のサマータイム設定を切り替える

接続

- 時計とスマートフォンを接続する

- 時計とスマートフォンの接続を解除する

- 病院内、飛行機内で使うとき

- ペアリングを解除する

- スマートフォンを買い替えたとき

時刻を合わせる

- 時計を操作して時刻を合わせる

- 病院内、飛行機内で使うとき

ワールドタイム

- CASIO WATCHES でワールドタイムを設定する

- ワールドタイムを確認する

- ワールドタイム都市を設定する

- ホーム都市の時刻とワールドタイムの時刻表示を入れ替える

- 海外に渡航するときは

アラーム

- CASIO WATCHES でアラームをセットする

- アラームをセットする

- 時報をセットする

- アラームや時報を解除する

方位計測

- 方位を計測する

- 方位を補正する

- 方位計測値のずれを補正する

- 北方位を真北に設定する(磁気偏角補正)

- 磁北と真北

- 方位計測のご注意

高度計測

- 現在地の高度を確認する

- 高度計測値を補正(オフセット)する

- 基準点からの高度差を確認する

- 自動計測の間隔を設定する

- 高度を記録する

- 高度計測のご注意

気圧計測

- 気圧を確認する

- 気圧の変化を確認する

- 気圧差を確認する

- 気圧の急激な変化を知らせる

- 気圧の計測値を補正(オフセット)する

- 気圧計測のご注意

温度計測

- 温度を確認する

- 温度計測値を補正(オフセット)する

- 温度計測のご注意

高度記録の確認

- 記録したデータを見る

- データを消去する

日の出/日の入り時刻

- 日の出/日の入り時刻を調べる
- 日にちを指定して日の出/日の入り時刻を調べる

ストップウォッチ

- 計測する
- スプリットタイムを計測する

タイマー

- CASIO WATCHES でタイマーをセットする
- 時間を設定する
- タイマーを使う

歩数計測

- 歩数を計測する
- 正しく計測できないとき

針の補正

- CASIO WATCHES で針の位置を補正する
- 針の位置を補正する

その他の設定

- ボタンの操作音を設定する
- 活動量の計測時に高度差を反映する(高度差反映機能)
- 時計の設定をリセットする

仕様一覧

補足

- 都市一覧
- サマータイム期間一覧
- 対応するスマートフォン
- 商標、登録商標について

困ったときは

注意事項

- ご使用上の注意
- お手入れについて
- 電池交換について
- 金属バンドの駒詰めについて
- モバイルリンク機能に関する注意事項
- 無線に関するご注意

安全上のご注意

絵表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようにになっています。



死亡または重傷を負う可能性が大きい内容を示しています。



死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。



軽傷を負う可能性および物的損害が発生する可能性がある内容を示しています。

絵表示の例



記号は「してはいけないこと」を意味しています（左の例は分解禁止）。



記号は「気をつけるべきこと」を意味しています。



記号は「しなければならないこと」を意味しています。



●電池について

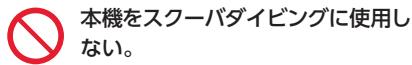


ボタン電池を取り外した場合は、電池を誤飲しない、させない、特に乳幼児の手が届く所に電池を置かない。

電池を飲み込んだ場合、または飲み込んだ恐れがある場合は、直ちに医師と相談してください。電池を飲み込むと、短時間で化学やけどや粘膜組織の貫通などを引き起こし、死亡事故の原因になります。



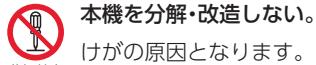
●スクーバダイビングに使用しない



本機をスクーバダイビングに使用しない。

本機はダイバーズウォッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。

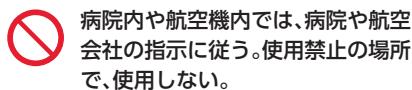
●分解・改造しない



本機を分解・改造しない。

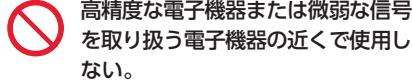
けがの原因となります。

●他の電子機器への影響について



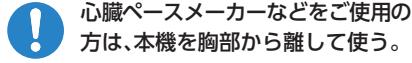
病院内や航空機内では、病院や航空会社の指示に従う。使用禁止の場所で、使用しない。

本機からの電磁波などが計器類に影響を与え、事故の原因となります。



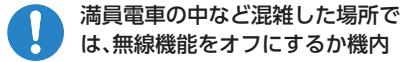
高精度な電子機器または微弱な信号を取り扱う電子機器の近くで使用しない。

電子機器が誤作動するなどの影響を与え、事故の原因となります。



心臓ペースメーカーなどをご使用の方は、本機を胸部から離して使う。

心臓ペースメーカーなどに磁力の影響を与えることがあります。異常を感じたら直ちに本機を体から離し、医師に相談してください。



満員電車の中など混雑した場所では、無線機能をオフにするか機内モードにする。

付近に心臓ペースメーカーなどを装着している方がいると、電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となります。



●お手入れについて



ケース・バンドは常に清潔にして使う。

ケース・バンドは汚れからさびが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。特に、海水に浸した後、放置するとさびやすくなります。

●かぶれについて



時計の本体およびバンドは、直接肌に接触しています。使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

1. 金属・皮革に対するアレルギー
2. 時計の本体およびバンドの汚れ・さび・汗など
3. 体調不良など

バンドは余裕を持たせて使用する。きつくしめると、汗をかきやすく、空気の通りが悪くなり、かぶれを起こす恐れがあります。

「抗菌防臭バンド」は細菌の繁殖とにおいの発生を抑えます。皮膚のかぶれを防ぐものではありません。

かぶれなど、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。



ときどき時計を外して手首を休ませる。

お客様のご使用いただく環境(長時間の装着や汗をかいた場合など)によつては、皮膚(肌)に負担がかかる場合があります。皮膚障害を防ぐため定期的に製品の装着をやめ、皮膚(肌)を休ませてください。

●データ保護について



データは、必ずノートなどに控えを取る。

電池切れや電池交換および故障修理の場合、データ内容はすべて消えます。

●ご使用にあたって



時計の表示は、安全な場所で確認する。

思わぬ転倒や、けが、事故の原因となることがあります。特に、道路でのマラソンやジョギング、自転車やバイク・自動車などの運転中はご注意ください。また、第三者への接触による事故防止にもご注意ください。



時計の着脱に注意する。

バンドの中留で爪を傷つける恐れがあります。特に、長く伸ばした爪では、中留の操作はおやめください。



小さなお子様と接するときは、時計を外す。

お子様のけがやアレルギーによるかぶれの原因となることがあります。



電池消耗で時計が止まった場合は、速やかに電池を交換する。

電池の液漏れによる周囲の汚損の原因となることがあります。



時計本体(裏ぶたを含む)やバンドに製品保護シールが付いている場合は、ご使用になる前に必ずはがす。

シールをはがさずにご使用になると、「時計本体やバンド」と「シール」との隙間に汚れが付着し、さびやかぶれの原因となることがあります。

●オートライト作動のご使用について



オートライトが作動する状態で、腕について自動車などの運転をしない。

不意のライト点灯が運転を妨げて、交通事故の原因となることがあります。

本機について

時計の概要と、便利な使い方を紹介します。

● 本製品の特長

● スマートフォンと通信

Bluetooth 対応のスマートフォンと接続し、通信することができます。

● ワールドタイム

世界 38 都市(38 タイムゾーン)*と UTC の時刻を表示できます。

* スマートフォンとの接続で更新される場合があります。

● アラーム

設定した時刻になると、アラーム音を鳴らしてお知らせします。

● 方位計測

北の方向や目標の方位を調べることができます。

● 高度計測

現在地の高度を計測できます。

日時や高度を記録できます。

2 点間の高度差を計測できます。

● 気圧計測

気圧傾向の表示、注意すべき気圧変化の通知もできます。

● 温度計測

現在の気温を計測できます。

● 高度記録の確認

高度計測で記録したデータの確認や削除ができます。

● 日の出/日の入り時刻

日付を指定して、日の出/日の入り時刻を調べることができます。

● ストップウォッチ

計測開始から 1 時間は 1/100 秒単位で、それ以降は 1 秒単位で最大 24 時間計測できます。

● タイマー

設定時間をカウントダウン計測し、残り時間が 0 になるとタイムアップ音を鳴らしてお知らせします。

重要

● 専門的な計測器ではありません。計測機能は、目安としてお使いください。

● 方位計を本格的な登山などでご使用になるときは、必ず予備のコンパス(方位磁針)を携帯してください。予備のコンパスと比較して計測した方位が異なる場合は、正しい方位を計測するため、8 の字補正または 2 点補正をしてください。

- 永久磁石(磁気アクセサリーなど)、金属類、高压線、架線、家庭電化製品(テレビ、パソコン、携帯電話など)の近くのような、強い磁力がある場所では正しく計測や補正ができません。

○ 方位計測

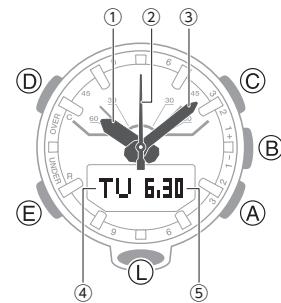
● 高度計は、計測した気圧を高度に換算した値を表示します(相対高度計)。そのため標高や海拔高度とは異なる値を表示することがあります。こまめに補正しながら計測することをおすすめします。

○ 高度計測

参考

● この操作ガイドに記載しているイラストは、視認性を考慮して実際のものとは異なる描写をしているものがあります。ご了承ください。

各部の名称



① 時針

② 秒針

③ 分針

④ 曜日

⑤ 月・日

A ボタン

時刻モード表示中に押すと、高度計測モードに切り替わります。

B ボタン

押すと、ペアリング済みのスマートフォンと接続します。

C ボタン

時刻モード表示中に押すと、方位計測モードに切り替わります。

D ボタン

時刻モード表示中に押すと、画面の表示切り替えができます。

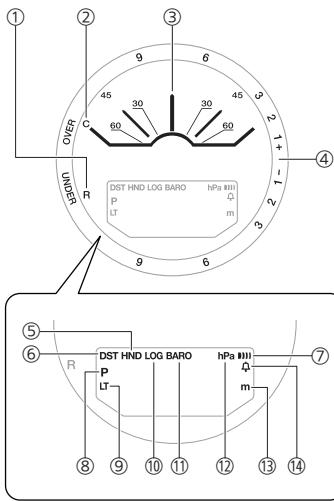
E ボタン

押すごとに、モード(機能)が切り替わります。どのモードでも、2 秒以上押し続けると、時刻モードに戻ります。

L ボタン

押すと、ライトが点灯します。

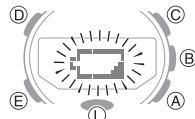
文字板と画面の表示



- ① スマートフォンと接続待機中に秒針が[R]を示します。
- ② スマートフォンと接続中に秒針が[C]を示します。
- ③ 12時位置を基準とし、北方位(方位計測)または、現在地から目的地方向(ロケーションインジケーター)の角度差の目安を秒針が示します。
- ④ 高度差/気圧差を秒針が示します。
- ⑤ 針が退避した状態になっているときに点滅します。
- ⑥ 時刻が夏時間のときに点灯します。
- ⑦ アラームをオンになると点灯します。
- ⑧ 12時間制表示で午後のときに点灯します。
- ⑨ オートライトをオンになると点灯します。
- ⑩ ミッションログ機能がオンのときに点灯します。
- ⑪ 気圧傾向インフォメーションをオンにすると点灯します。
- ⑫ 気圧の単位が点灯します。
- ⑬ 高度/距離の単位が点灯します。
- ⑭ 時報をオンになると点灯します。

●電池の交換時期

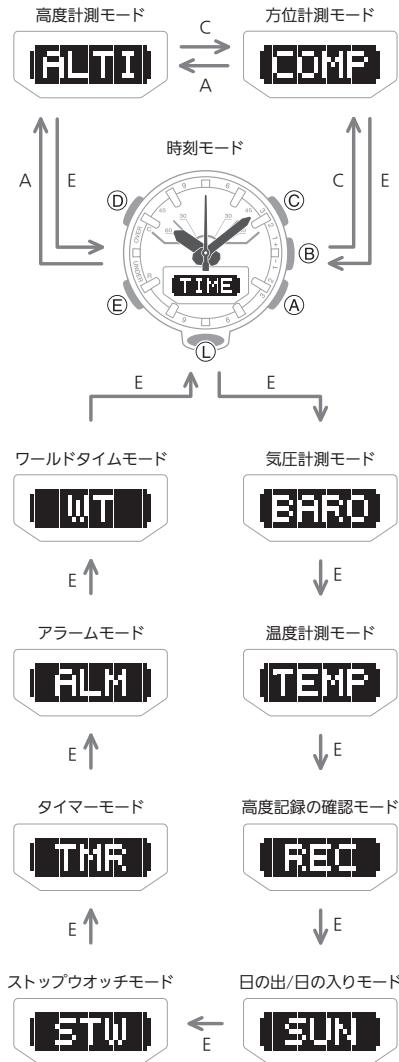
電池の電圧が低下すると、が点滅し、使用できる機能が制限されます。が常に点滅する場合は、電池を交換してください。電池交換は「修理お申込み先」(「取扱説明書」を参照)またはお買い上げの販売店にお申し付けください。



モードを切り替える

この時計には、以下のモード(機能)があります。

- どのモードで操作していても、Eボタンを2秒以上押し続けると、時刻モードに戻ります。



モードは、上記イラスト内に記載のボタンで切り替えます。

参考

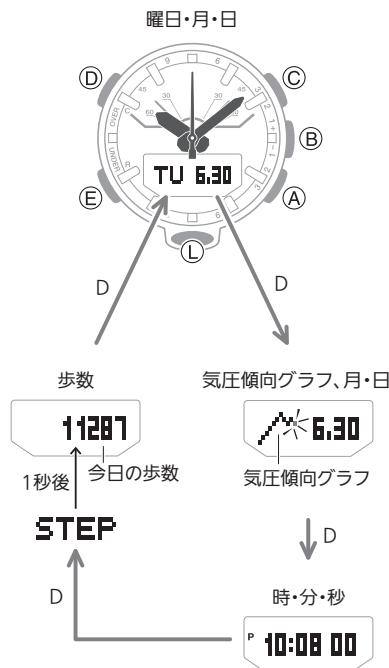
- CASIO WATCHES を使って、モードの並び替えをしたり、削除、または追加したりできます。
 - [モードを設定する\(モードカスタマイズ\)](#)
- CASIO WATCHES から操作をする前に、スマートフォンとのペアリングが必要です。
 - [③ペアリングする](#)

各モードの概略

●時刻モード

現在の日時を表示します。また、気圧傾向グラフ、ワールドタイム、歩数、日の出/日の入り時刻を表示することもできます。

Dボタンを押して、表示を切り替えることができます。



参考

- 以下の項目は、CASIO WATCHES を使って、追加で表示することができます。

また、表示項目の削除や表示順を並び替えることもできます。

- 年・月・日
- 気圧傾向グラフ
- ワールドタイム時分
- ホーム都市の日の出/日の入り時刻

⌚ 時刻モードの画面表示を設定する

- CASIO WATCHES から操作をする前に、スマートフォンとのペアリングが必要です。

⌚ ③ペアリングする

ペアリングしているスマートフォンと接続して時刻を合わせる

Bボタンを押します。

⌚ すぐに時刻を合わせたい

ペアリングしているスマートフォンを探す

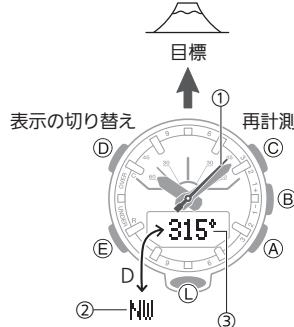
Bボタンを約5秒間押し続けます。

⌚ スマートフォンを探す

●方位計測モード

方位や角度を計測します。

⌚ 方位計測



① 北方位

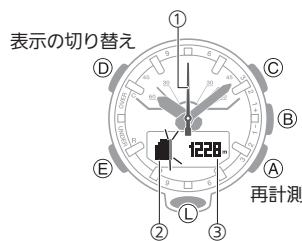
② 12時方向の方位

③ 12時方向の方位角

●高度計測モード

現在地の高度を計測します。

⌚ 高度計測



① 高度差/現在時刻の秒

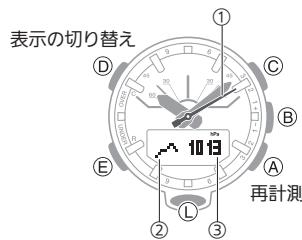
② 高度傾向グラフ

③ 高度

●気圧計測モード

現在地の気圧を計測します。

⌚ 気圧計測



① 気圧差/現在時刻の秒

② 気圧傾向グラフ

③ 気圧

●温度計測モード

現在の温度を計測します。

⌚ 温度計測

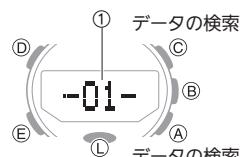


① 温度

●高度記録の確認モード

計測した高度記録を確認できます。

⌚ 高度記録の確認

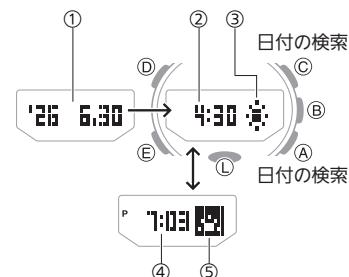


① 前回表示していたデータ

●日の出/日の入りモード

ホーム都市の日の出と日の入りの時刻を表示します。

⌚ 日の出/日の入り時刻



① 年・月・日

② 曜日

③ 日の出

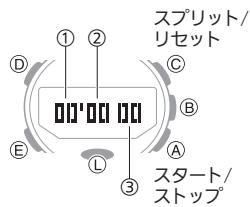
④ 日の入り

⑤ 日の入り

●ストップウォッチモード

経過時間を計測します。

⌚ ストップウォッチ

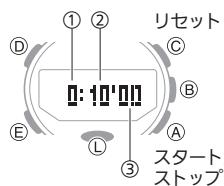


- ① ストップウォッチ分
- ② ストップウォッチ秒
- ③ ストップウォッチ 1/100 秒

●タイマーモード

タイマーを計測します。

⌚ タイマー



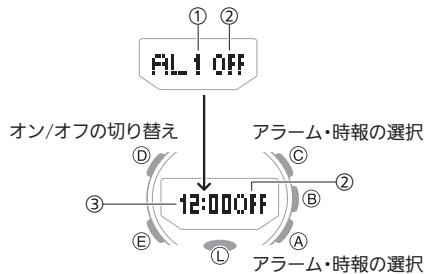
- ① タイマー時
- ② タイマー分
- ③ タイマー秒

●アラームモード

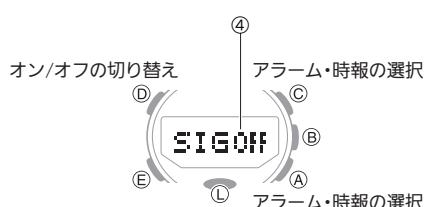
指定した時刻に音でお知らせします。

⌚ アラーム

前回の表示がアラームの場合



前回の表示が時報の場合

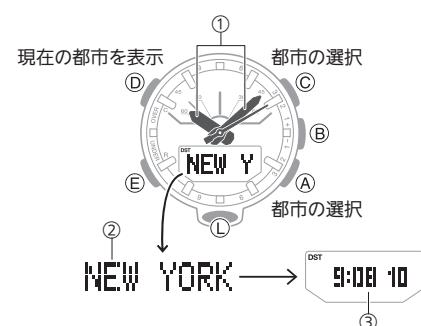


- ① アラーム番号
- ② アラームのオン/オフ
- ③ アラーム時・分
- ④ 時報のオン/オフ

●ワールドタイムモード

世界 38 都市と UTC (協定世界時) の時刻を表示します。

⌚ ワールドタイム



- ① ホーム都市の時刻
- ② ワールドタイム都市
- ③ ワールドタイム都市の時刻

針を一時的に移動する(針退避機能)

針を一時的に移動させて、画面など他の表示を見やすくすることができます。

1. L ボタンを押しながら、E ボタンを押します。

画面が見えやすい位置に針が移動します。



2. もう一度、L ボタンを押しながら E ボタンを押す、または E ボタンを押してモードを切り替えると、針が通常の位置(時刻表示)に戻ります。

参考

- 針が退避している状態で何も操作をしないまま約 1 時間経過、またはモードを切り替えると、針は現在時刻の位置に戻ります。

暗い所で時計を見る

暗い所で時計の表示を見るときに、ライトを点灯することができます。

●手動でライトを点灯させる

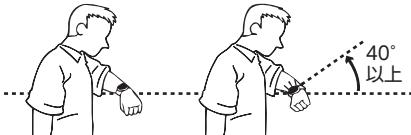
Lボタンを押すと、ライトが点灯します。

- ライト点灯中にアラーム音が鳴ると、消灯します。



●自動的にライトを点灯させる

オートライト機能がオンのときは、時計を40°以上傾けると、ライトが点灯します。



重要

- 以下の図のように、時計が水平状態から15°以上傾いていると、点灯しにくくなります。



- 静電気や磁気の影響でオートライトが作動しないことがあります。その場合、もう一度時計を水平状態にしてから傾けてください。
- 時計を傾けたとき、内部から「カラカラ」と音がする場合があります。これは、オートライトスイッチの作動音で、故障ではありません。

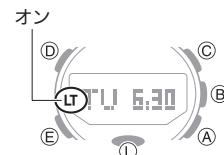
参考

- 以下の状態のとき、オートライト機能は作動しません。
 - アラーム音やタイマー音などが鳴っているとき
 - 針が移動しているとき
 - 方位計測モードのとき

●オートライト機能を設定する

時刻モードでLボタンを3秒以上押し続けると、オートライト機能のオンとオフを切り替えることができます。

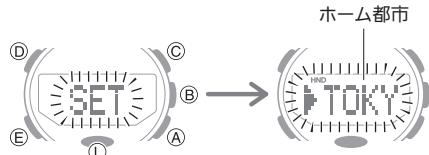
- オートライト機能をオンにすると、[LT]が点灯します。
- オートライト機能をオンにすると、約6時間オートライト機能が有効になります。



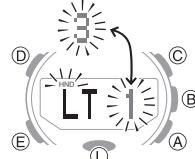
●点灯時間を設定する

ライトの点灯時間は、1.5秒と3秒のどちらかを選ぶことができます。

1. 時刻モードにします。
○モードを切り替える
2. Dボタンを2秒以上押し続け、現在設定しているホーム都市が表示されたら指を離します。



3. Eボタンを3回押して、[LT]を表示させます。
4. Aボタンを押して、点灯時間を選びます。
[1]:1.5秒点灯します。
[3]:3秒点灯します。



5. Dボタンを2回押して、設定を終了します。

本機の便利な使い方

本機とスマートフォンをペアリングすることで、時計のさまざまな機能を簡単に使うことができます。

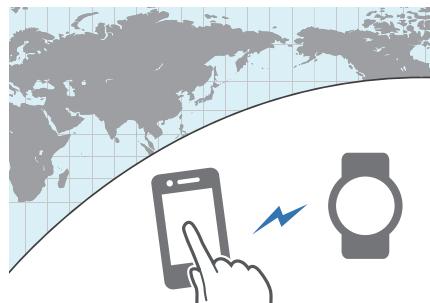
時刻を自動で合わせます

- 時計の時刻を自動で合わせる



300以上の都市の中から選ぶことができます

- ワールドタイムを設定する



各種データをスマートフォンに転送できます

- 歩数関連のデータを見る



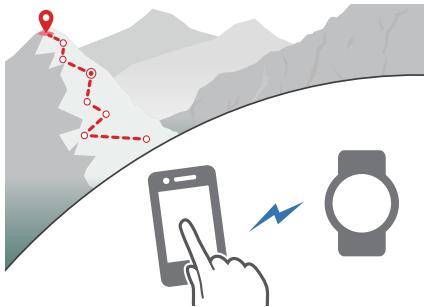
スマートフォンで記録したメモリー地点までの距離と方位を確認できます

○メモリー地点までの距離と方位を確認する
(ロケーションインジケーター機能)



スマートフォンと連動し、移動した場所の高度と経路を記録できます

○移動した場所の高度と経路を記録する
(ミッションログ機能)



その他、時計のさまざまな設定がスマートフォンで操作できます。

まずは、時計とスマートフォンをペアリングしてください。

○準備する

●時計とスマートフォンをペアリングするには、カシオオリジナルのアプリケーション「CASIO WATCHES」をスマートフォンにインストールする必要があります。

スマートフォンと一緒に使う

時計とスマートフォンを Bluetooth で接続することで、時計の時刻を自動で合わせたり、時計の設定を変更したりできます(モバイルリンク機能)。

参考

- この機能は、CASIO WATCHES が起動しているときのみ使用できます。
- この章では、時計とスマートフォンを操作します。
 - ⌚: 時計を操作します。
 - 📱: スマートフォンを操作します。

準備する

スマートフォンと一緒に使いになるには、時計とスマートフォンをペアリングする必要があります。以下の手順でペアリングをしてください。

- ① アプリケーションをインストールする
- ② Bluetooth を設定する
- ③ ペアリングする

●① アプリケーションをインストールする

Google Play または App Store で、カシオオリジナルのアプリケーション「CASIO WATCHES」を検索して、スマートフォンにインストールしてください。

●② Bluetooth を設定する

スマートフォンの Bluetooth 設定をオンにします。

参考

- 設定方法の詳細についてはスマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

●③ ペアリングする

- ペアリング相手のスマートフォンを、時計の近く(1m 以内を推奨)に置きます。
- ⌚ 「CASIO WATCHES」アイコンをタップします。
- ⌚ 「マイウォッチ」タブの➕をタップします。
- ⌚ 画面に従って操作して、時計を CASIO WATCHES に登録します。
- ⌚ 秒針が[R]の位置を示すまで 2 秒以上、B ボタンを押し続けます。
時計とスマートフォンが接続すると、[APP] から [OK] に変わり、秒針が[R]から[C]に移動します。
このとき、スマートフォンと時計の時刻が合います。
- すでにスマートフォンとペアリングされている時計を別のスマートフォンとペアリングするには、秒針が[R]の位置を 2 回示すまで B ボタンを押し続けます。



- ペアリングに失敗すると、時計が操作前の状態に戻ります。ペアリングを最初からやり直してください。

以上でペアリングは完了です。
ペアリングすると、以後はスマートフォンと時計が自動的に接続し、時計の時刻がスマートフォンの時刻と合います。

参考

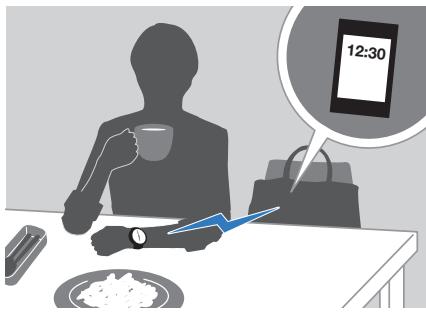
- CASIO WATCHES を初めて起動したときに、位置情報の使用を許可するかどうかのメッセージがスマートフォンの画面に表示されます。位置情報をバックグラウンドでも使用できるように設定してください。

時計の時刻を自動で合わせる

毎日決まった時刻にスマートフォンと接続して、時計の時刻を合わせます。

●使い方

この時計は1日に4回の時刻合わせがスケジュールされています。時刻モードにしておけば、(イラストのように)普段の生活の中で自動的に時刻を合わせるので、そのままお使いになれます。



重要

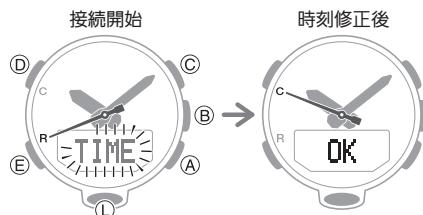
- 以下のような場合は、自動で時刻を合わせることができないことがあります。
 - スマートフォンと時計が離れた場所にある
 - 電波干渉などで通信できない
 - スマートフォンのシステム更新を実行している
 - CASIO WATCHES が終了している

●すぐに時刻を合わせたい

時計とスマートフォンを接続すると、時計の時刻を合わせることができます。今すぐ時計の時刻を合わせたいときは、以下の手順で時計とスマートフォンを接続します。

- スマートフォンを、時計の近く(1m以内を推奨)に置きます。
- Bボタンを押します。

[TIME]が点滅してスマートフォンとの接続が始まります。時計とスマートフォンが接続すると、[OK]が表示された後、時刻情報を取得して時計の時刻が合います。



参考

- どのモードのときでも、上記の操作で時刻を合わせることができます。
- 時刻合わせが終わると、接続が終了します。
- 時刻合わせが失敗すると、[ERR]が表示されます。

参考

- スマートフォンと接続しても時計が正しい時刻を示さない場合は、針の位置を補正してください。
 針の位置を補正する
- CASIO WATCHES でワールドタイム都市を設定している場合、ワールドタイムの時刻も自動で合います。
- 時刻合わせのタイミングは、午前12時半頃、午前6時半頃、午後12時半頃、午後6時半頃で、それぞれの時刻になると自動で接続して時刻が合います。時刻合わせが終了すると自動で接続が解除されます。

モードを設定する(モードカスタマイズ)

CASIO WATCHES で、モードの並び替えとモードの削除または追加を設定し、時計に反映できます(モードカスタマイズ)。

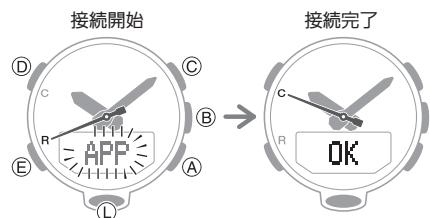
重要

- 時計では、モードカスタマイズはできません。CASIO WATCHES で設定してください。

並び替えや削除ができるモードは以下の通りです。

- 気圧計測モード
- 温度計測モード
- 高度記録の確認モード
- 日の出/日の入りモード
- ストップウォッチモード
- タイマーモード
- アラームモード
- ワールドタイムモード

- 「CASIO WATCHES」アイコンをタップします。
 - 秒針が[R]の位置を2回示すまで2秒以上、Bボタンを押し続けます。
- 時計とスマートフォンが接続すると、[APP]から[OK]に変わり、秒針が[R]から[C]に移動します。



- 画面に従って操作して、モードの設定をします。

参考

- モード数の増減により、モードの機能や設定が変わることがあります。
- 気圧計測モードを削除しても、時刻モードの画面表示で気圧グラフは表示できます。
- 日の出/日の入りモードを削除しても、時刻モードの画面表示で日の出/日の入り時刻は表示できます。

●モードカスタマイズを初期化する

重要

- モードカスタマイズを初期化すると、時計の各種設定も初期化されます。

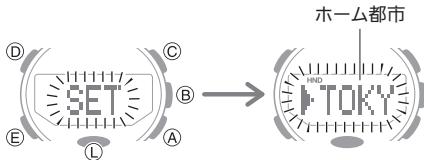
参考

- ミッションログ機能がオンのときは、モードカスタマイズの初期化はできません。

1. ⌂ 時刻モードにします。

⌚ モードを切り替える

2. ⌂ D ボタンを 2 秒以上押し続け、現在設定しているホーム都市が表示されたら指を離します。



3. ⌂ D ボタンを押します。

「秒」が点滅します。



4. ⌂ C ボタンを 5 秒以上押し続け、[RESET] が点滅から点灯に変わったら指を離します。

モードカスタマイズが初期化されます。

5. ⌂ D ボタンを押して、設定を終了します。

時刻モードの画面表示を設定する

CASIO WATCHES で、時刻モードの画面表示項目の並び替えと表示項目を追加または削除することができます。

重要

- 時計では、表示内容の設定はできません。CASIO WATCHES で設定してください。

表示できる項目は以下の通りです。

- 曜日・月・日

TU 6.30

- 年・月・日 *

'26 6.30

- 気圧傾向グラフ・月・日

6.30

- 気圧傾向グラフ *

- 時・分・秒

10:08 00

- ワールドタイム時・分 *

DST 9:08 WT

- 歩数

STEP → 11281

- ホーム都市の日の出/日の入り時刻 *

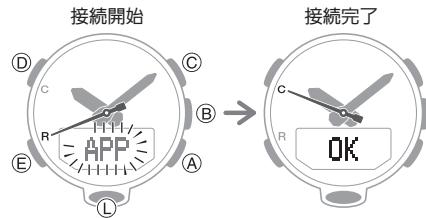
4:30 ← 7:03

* CASIO WATCHES で追加できる表示項目です。初期設定では表示されません。

1. ⌂ 「CASIO WATCHES」アイコンをタップします。

2. ⌂ 秒針が[R]の位置を 2 回示すまで 2 秒以上、B ボタンを押し続けます。

時計とスマートフォンが接続すると、[APP] から [OK] に変わり、秒針が[R]から[C]に移動します。



3. ⌂ 画面に従って操作して、モードの設定をします。

歩数関連のデータを見る

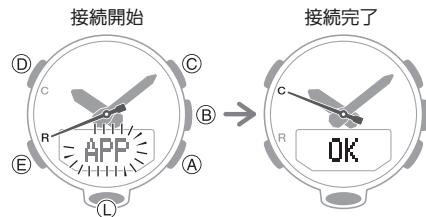
時計で計測した以下の情報を CASIO WATCHES で見ることができます。

- 24 時間の歩数、消費カロリー
- 1 週間の歩数、消費カロリー

1. ⌂ 「CASIO WATCHES」アイコンをタップします。

2. ⌂ 秒針が[R]の位置を 2 回示すまで 2 秒以上、B ボタンを押し続けます。

時計とスマートフォンが接続すると、[APP] から [OK] に変わり、秒針が[R]から[C]に移動します。



3. ⌂ 画面に従って操作して、歩数計のデータを表示します。

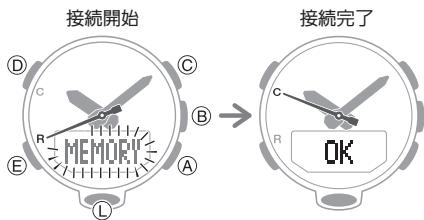
参考

- CASIO WATCHES で 1 日の目標歩数を設定することもできます。
- 時計に表示される歩数はリアルタイムで変動しますが、CASIO WATCHES には接続時点での歩数が表示されます。そのため、時計に表示される歩数と異なる場合があります。

現在の位置情報を記録する(ロケーションメモリー)

CASIO WATCHES を使って、現在の位置情報を記録することができます。

- 「CASIO WATCHES」アイコンをタップします。
- 時刻モード、または方位計測モードにします。
モードを切り替える
- ④ C ボタンを 5 秒以上押し続け、[MEMORY] が点滅し、秒針が [R] の位置を 2 回示したら指を離します。
時計とスマートフォンが接続し、位置情報取得に成功すると、[MEMORY] から [OK] に変わり、秒針が [R] から [C] に移動します。
• 接続に失敗すると、[ERR] を表示します。
• 位置情報の取得に失敗すると、[FAILED] → [POSITION] の順で表示します。



- 画面に従って操作して、記録した位置情報を確認します。
記録される位置情報は 1 件のみです。
すでにデータがある場合は、データを上書きします。

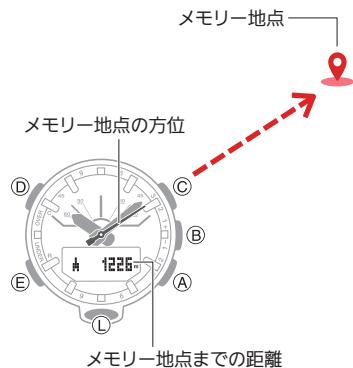
参考

- ロケーションメモリー機能で記録した位置情報は、CASIO WATCHES で他の地点に変更できます。中国では、この操作はできません。
- ロケーションメモリー機能で位置情報を記録すると、記録した位置までの距離と方位をロケーションインジケーター機能で確認できます。
メモリー地点までの距離と方位を確認する(ロケーションインジケーター機能)

メモリー地点までの距離と方位を確認する(ロケーションインジケーター機能)

スマートフォンで現在の位置情報を取得し、ロケーションメモリー機能で記録した地点と現在位置の距離と方向の情報を時計で表示します。

現在の位置情報を記録する(ロケーションメモリー)



重要

- ロケーションインジケーター機能を使用中は、CASIO WATCHES の操作はできません。

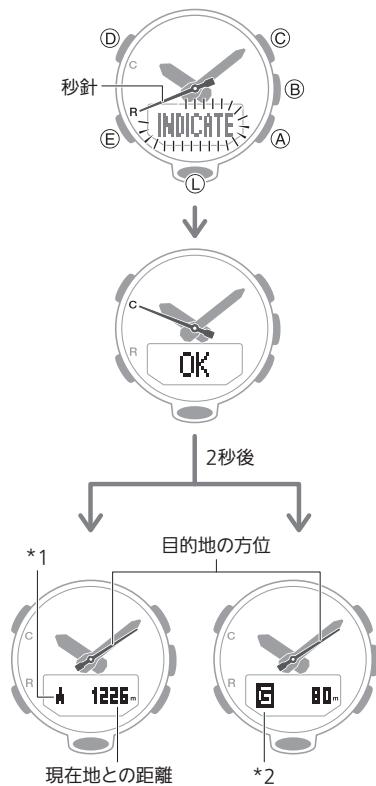
- 「CASIO WATCHES」アイコンをタップします。

- 時刻モード、または方位計測モードにします。
モードを切り替える

- ④ C ボタンを 2 秒以上押し続け、[INDICATE] が点滅し、秒針が [R] に移動したら指を離します。

時計とスマートフォンが接続し、位置情報取得に成功すると、[INDICATE] から [OK] に変わり、秒針が [R] から [C] に移動します。

2 秒後に、記録した位置に対しての現在位置との距離を表示し、秒針は目的地の方位を示します。



*1

秒針が 55 秒から 05 秒位置(目的地方向が 30°以内)の範囲を示しているとき、[■] がネガ表示になります。

*2

目的地までの距離が 80m 以内になると [G] が点灯します。目的地までの距離が 161m 以上になると、[G] 点灯は解除されます。

- 表示された現在地との距離と目的地の方位を確認します。

参考

- ロケーションインジケーター機能の有効時間は3分です。
- 10秒ごとまたはBボタンを押すことにより、スマートフォンに接続して位置情報を取得すると、メモリー地点までの距離と方位が更新されます。
- ロケーションインジケーター機能を有効にしてから3分後、またはB,L以外のボタンを押すと、機能を中止します。
- ロケーションインジケーター機能が有効になっている間にBまたはLボタンを押すと、その操作から3分間機能が有効になります。
- Bボタンを押してデータ更新すると、データが更新されるまで[TRY]を表示します。
- 以下の場合、[FAIL]を表示します。
 - 最後の更新から30秒以上経過後、位置情報取得に失敗したとき
 - 最後の更新から60秒以上経過したとき
 - Bボタンを押してデータ更新に失敗したとき
- 目的地までの距離の表示範囲は0m～99999mです。目的地までの距離が表示範囲外のときは、[----]を表示します。
- 接続に失敗すると、[ERR]を表示します。
- ロケーションメモリーのデータがない場合は、[NO-DATA]と表示します。
- 初回の位置情報の取得に失敗すると、[FAILED]→[POSITION]の順で表示します。
- ロケーションインジケーター機能を使用中に異常磁気を検出した場合、[G]または[G]が点滅します。
- ロケーションインジケーター機能を使用中に方位センサーのエラーが発生した場合、[ERR]を表示します。

自動で高度を補正する

CASIO WATCHES の高度自動補正の機能をオンになると、CASIO WATCHES で高度値を取得し、時計の高度値を自動で補正して更新します。

重要

- 高度自動補正機能のオン/オフは CASIO WATCHES で切り替えます。時計では切り替えできません。

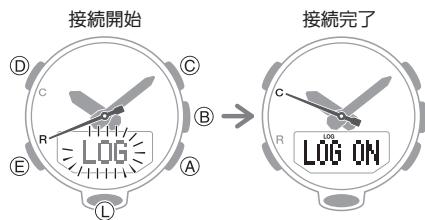
参考

- CASIO WATCHES で取得した高度値の精度が条件を満たしていれば、時計の高度値を自動補正します。
- 自動時刻修正のタイミングで自動補正をします。
- 手動補正から12時間は、自動補正をしません。

移動した場所の高度と経路を記録する(ミッションログ機能)

ミッションログ機能は、CASIO WATCHES のGPS機能で移動した経路を記録します。同時に、時計で2分ごとに高度を計測して記録し、1時間ごとに高度データをCASIO WATCHES に自動で転送します。

- 【CASIO WATCHES】アイコンをタップします。
- ⌚ 時刻モード、または高度計測モードにします。
⌚ モードを切り替える
- ⌚ Aボタンを5秒以上押し続け、[LOG]が点滅し、秒針が[R]に移動したら指を離します。
時計とスマートフォンが接続すると、[LOG]から[LOG ON]に変わり、秒針は[R]から[C]へ移動します。
- ミッションログ機能がオンになりました。



- ミッションログ機能をオフにしたい場合は、もう一度Aボタンを5秒以上押し続けます。

参考

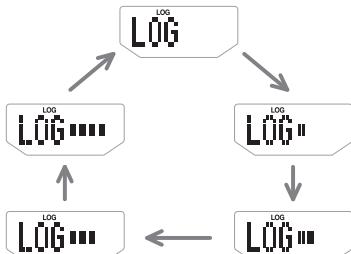
- ミッションログ機能がオンのときは、[LOG]が点灯します。
- ミッションログ機能をオンにしてから12時間後に、自動的にオフになります。
- 他のモードに移動しても、ミッションログ機能オンの状態は有効です。
- 時計は、高度情報を60本まで記録できます。61本目のデータを記録すると、一番古いデータが消去されます。

●データの転送について

ミッションログ機能をオンにしてから時計で計測した高度情報が30本たまると、データの転送を開始します。

- データは、各モードの通常状態のときに自動転送されます。

データ送信中は、以下のように表示が切り替わります。



- 秒針は[R]を示します。

- データの転送に失敗すると、元の表示に戻り[LOG]が点滅します。



参考

- 自動転送に失敗した場合、10分ごとに最大5回まで再送します。または、CASIO WATCHES 接続時にデータを転送します。

ワールドタイムを設定する

CASIO WATCHES でワールドタイム都市を設定し、時計にその都市の時刻をセットします。また、設定した都市がサマータイムになると、時計を操作しなくても、時計の時刻が自動でサマータイムに切り替わります。



参考

- CASIO WATCHES のワールドタイム都市は約300都市あります。

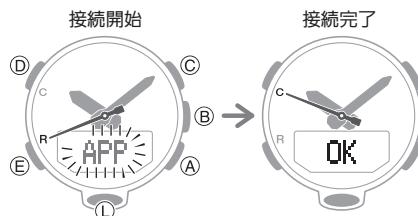
●ワールドタイム都市を設定する

- [CASIO WATCHES]アイコンをタップします。

- 秒針が[R]の位置を2回示すまで2秒以上、Bボタンを押し続けます。

時計とスマートフォンが接続すると、[APP]から[OK]に変わり、秒針が[R]から[C]に移動します。

- 接続に失敗すると、[ERR]を表示した後に接続開始前のモードに戻ります。



- 画面に従って操作して、ワールドタイムを時計に反映させます。

参考

- CASIO WATCHES を使えば、時計に設定がない都市をワールドタイム都市に設定できます。これらの都市をワールドタイム都市に設定する場合は、常に CASIO WATCHES を使って設定してください。

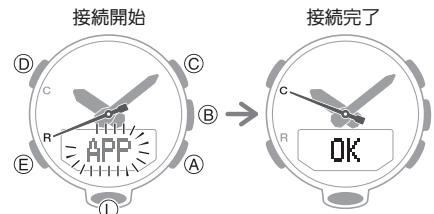
●サマータイムを設定する

- [CASIO WATCHES]アイコンをタップします。

- 秒針が[R]の位置を2回示すまで2秒以上、Bボタンを押し続けます。

時計とスマートフォンが接続すると、[APP]から[OK]に変わり、秒針が[R]から[C]に移動します。

- 接続に失敗すると、[ERR]を表示した後に接続開始前のモードに戻ります。



- 画面に従って操作して、サマータイムを設定します。

- 「Auto」
スタンダードタイムとサマータイムが自動で切り替わります。

- 「OFF」
常にスタンダードタイムで表示します。

- 「ON」
常にサマータイムで表示します。

参考

- サマータイム切り替えの設定が「Auto」のときは、自動でスタンダードタイムとサマータイムが切り替わります。サマータイムの切り替えのタイミングごとに時計の時刻を変更する必要はありません。また、サマータイムを導入していない都市でも、「Auto」の設定のまま使えます。
- サマータイムの切り替え期間は、サマータイム期間一覧で確認できます。

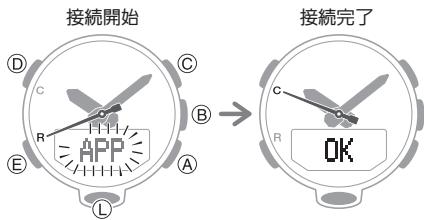
●ワールドタイムとホーム都市の時刻を入れ替える

1. 「CASIO WATCHES」アイコンをタップします。

2. 秒針が[R]の位置を2回示すまで2秒以上、Bボタンを押し続けます。

時計とスマートフォンが接続すると、[APP]から[OK]に変わり、秒針が[R]から[C]に移動します。

- 接続に失敗すると、[ERR]を表示した後に接続開始前のモードに戻ります。



3. 画面に従って操作して、ホーム都市の時刻とワールドタイムを入れ替えます。

参考

- ワールドタイムとホーム都市の時刻を入れ替えた後、24時間は自動時刻修正をしません。

針の位置を補正する

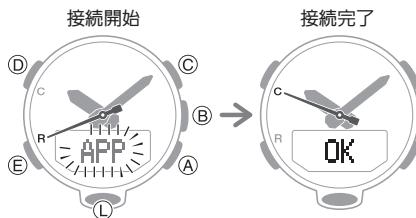
自動時刻修正をしても針の位置が合っていないときは、CASIO WATCHESを使って針の位置を補正できます。

1. 「CASIO WATCHES」アイコンをタップします。

2. 秒針が[R]の位置を2回示すまで2秒以上、Bボタンを押し続けます。

時計とスマートフォンが接続すると、[APP]から[OK]に変わり、秒針が[R]から[C]に移動します。

- 接続に失敗すると、[ERR]を表示した後に接続開始前のモードに戻ります。



3. 画面に従って操作して、針の位置を補正します。

スマートフォンを探す

時計の操作で、スマートフォンの音を鳴らして探すことができます（携帯電話探索機能）。スマートフォンがマナーモードに設定していても、強制的に音が鳴ります。

重要

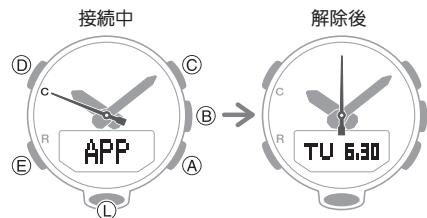
- スマートフォンの音を鳴らすことが禁止されている場所では、この機能を使わないでください。

- 大音量が発生しますので、ヘッドホン使用時にこの機能を使わないでください。

1. 時計とスマートフォンが接続している場合は、Lボタン以外のボタンを押して接続を解除します。

- 接続が解除されると、接続開始前のモードに戻ります。

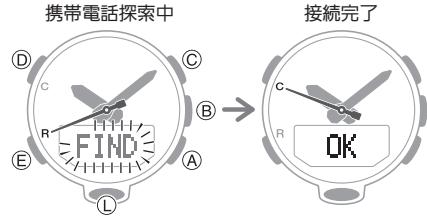
例：時刻モードから接続していた場合



2. 秒針が[R]の位置を3回示すまで5秒以上、Bボタンを押し続けます。

スマートフォンと接続すると、スマートフォンの音が鳴ります。

- スマートフォンの音が鳴るまで数秒かかります。



3. Lボタン以外のボタンを押して音を止めます。

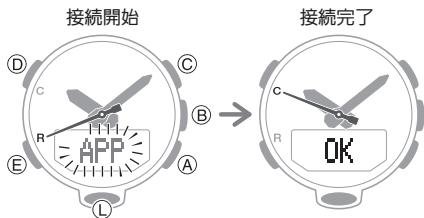
- 音が鳴り始めてから30秒間は、時計のボタン操作で音を止めることができます。

時計の各種機能を設定する

以下の各種機能を CASIO WATCHES で設定できます。

- タイマー時間
- アラーム
- 高度計

1. □「CASIO WATCHES」アイコンをタップします。
2. ⌂ 秒針が[R]の位置を 2 回示すまで 2 秒以上、B ボタンを押し続けます。
時計とスマートフォンが接続すると、[APP] から [OK] に変わり、秒針が[R]から[C]に移動します。
- 接続に失敗すると、[ERR] を表示した後に接続開始前のモードに戻ります。

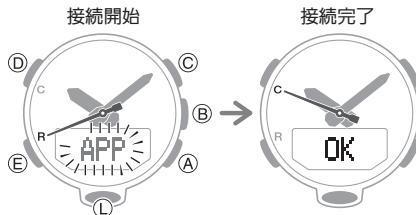


3. □ 設定したい内容を選び、画面に従って操作します。

ホーム都市のサマータイム設定を切り替える

1. □「CASIO WATCHES」アイコンをタップします。

2. ⌂ 秒針が[R]の位置を 2 回示すまで 2 秒以上、B ボタンを押し続けます。
時計とスマートフォンが接続すると、[APP] から [OK] に変わり、秒針が[R]から[C]に移動します。
- 接続に失敗すると、[ERR] を表示した後に接続開始前のモードに戻ります。



3. □ 画面に従って操作して、ホーム都市のサマータイム設定を切り替えます。

接続

時計とスマートフォンを接続する

ペアリングが完了している時計とスマートフォンを Bluetooth 接続します。

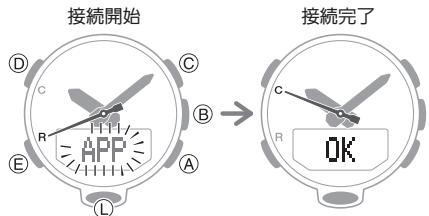
- ペアリングしていないときは、下記を参照し、ペアリングを完了してください。
- ③ ペアリングする

1. スマートフォンを、時計の近く(1m 以内を推奨)に置きます。

2. ⌂ 秒針が[R]の位置を 2 回示すまで 2 秒以上、B ボタンを押し続けます。

時計とスマートフォンが接続すると、[APP] から [OK] に変わり、秒針が[R]から[C]に移動します。

- 接続に失敗すると、[ERR] を表示した後に接続開始前のモードに戻ります。



重要

- 時計とスマートフォンを接続できないときは、CASIO WATCHES が終了している可能性があります。スマートフォンのホーム画面で「CASIO WATCHES」アイコンをタップしてアプリケーションを起動してから、時計の B ボタンを 2 秒以上押し続けてください。

参考

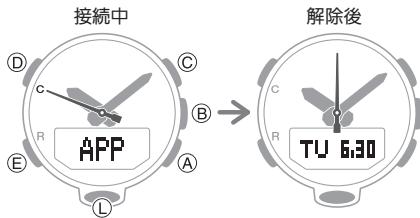
- 接続中に一定時間何も操作しないと、自動で接続は解除されます。
接続を維持する時間は、CASIO WATCHES の「時計設定」→「アプリとの接続時間」で、3 分、5 分、10 分から選ぶことができます。

時計とスマートフォンの接続を解除する

Lボタン以外のボタンを押すと、Bluetooth接続が解除されます。

- 接続が解除されると、接続開始前のモードに戻ります。

例：時刻モードから接続していた場合



病院内、飛行機内で使うとき

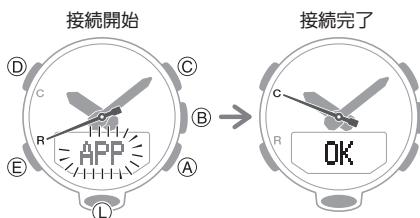
病院内や飛行機内など、スマートフォンと接続しては困るような場合、自動時刻修正を無効にできます。自動時刻修正を有効に戻すときも同じ操作です。

- 「CASIO WATCHES」アイコンをタップします。

- 秒針が[R]の位置を2回示すまで2秒以上、Bボタンを押し続けます。

時計とスマートフォンが接続すると、[APP]から[OK]に変わり、秒針が[R]から[C]に移動します。

- 接続に失敗すると、[ERR]を表示した後に接続開始前のモードに戻ります。



- 画面に従って操作して、自動時刻修正を有効または無効に設定します。

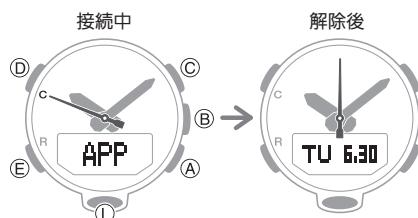
ペアリングを解除する

時計とスマートフォンのペアリングを解除するには、CASIO WATCHES、スマートフォン、時計からペアリング情報を削除します。

● CASIO WATCHES からペアリング情報を削除する

- 時計とスマートフォンが接続している場合は、Lボタン以外のボタンを押して接続を解除します。

- 接続が解除されると、接続開始前のモードに戻ります。



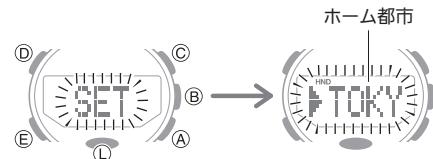
- 「CASIO WATCHES」アイコンをタップします。

- 画面に従って操作して、ペアリングを解除します。

● 時計のペアリング情報を削除する

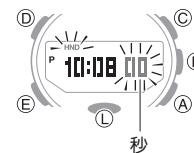
- Eボタンを2秒以上押し続けて時刻モードにします。

- Dボタンを2秒以上押し続け、現在設定しているホーム都市が表示されたら指を離します。



- Dボタンを押します。

「秒」が点滅します。



- Cボタンを2秒以上押し続け、[PAIR CLR]が点滅から点灯に変わったら指を離します。

時計からペアリング情報が削除されます。



- Dボタンを押して時刻モードに戻ります。

重要

- ミッションログ機能がオンのときは、時計からペアリング情報を削除できません。

○ 移動した場所の高度と経路を記録する（ミッションログ機能）

● スマートフォンのペアリング情報を削除する

設定方法の詳細についてはスマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

「設定」→「Bluetooth」→時計の機器登録を解除

スマートフォンを買いたいとき

今まで接続したことのないスマートフォンと本機をBluetooth接続する場合は、ペアリング操作が必要です。

○ ③ペアリングする

時刻を合わせる

この時計は、スマートフォンと接続して日付や時刻を合わせることができます。

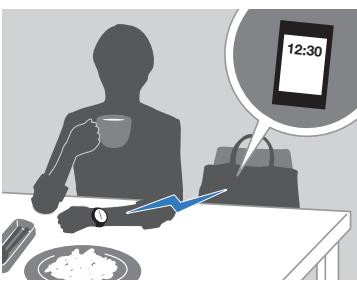
重要

- 飛行機内など、スマートフォンと接続して困るような場所では、自動時刻修正を無効にしてください。
- ⌚ CASIO WATCHES で設定する場合
- ⌚ 時計を操作して設定する場合

以下のチャートを参考にして、自分の生活スタイルに合った方法で時刻を合わせてください。

スマートフォンをお使いですか？

スマートフォンと接続して時刻を合わせることをお勧めします。
⌚ 時計の時刻を自動で合わせる



接続できるスマートフォンがない場合

接続できるスマートフォンがない場合は、時計を操作して時刻を合わせることができます。
⌚ 時計を操作して時刻を合わせる



時計を操作して時刻を合わせる

スマートフォンと接続できない場合などに、時計を操作して日付や時刻を合わせます。

●ホーム都市を設定する

この時計を使用する都市を設定します。サマータイムを実施している地域の場合は、サマータイムを設定することができます。

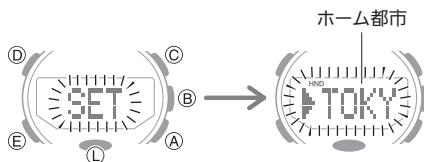
参考

- 各都市のサマータイムの初期設定(工場出荷時の状態)は[AUTO]です。多くの場合、[AUTO]であれば、設定を変更する必要はありません。

1. 時刻モードにします。

⌚ モードを切り替える

2. D ボタンを 2 秒以上押し続け、現在設定しているホーム都市が表示されたら指を離します。



3. A ボタンまたは C ボタンを押して、ホーム都市を変更します。

● ホーム都市については、下記をご覧ください。

⌚ 都市一覧

4. E ボタンを押します。

5. A ボタンを押して、サマータイムの設定を変更します。

A ボタンを押すごとに、以下の順で設定が切り替わります。

• [AUTO]

スタンダードタイムとサマータイムが自動で切り替わります。

• [OFF]

常にスタンダードタイムで表示します。

• [ON]

常にサマータイムで表示します。



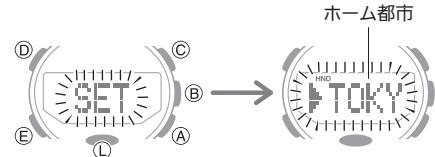
6. D ボタンを 2 回押して、設定を終了します。

●日時を設定する

1. 時刻モードにします。

⌚ モードを切り替える

2. D ボタンを 2 秒以上押し続け、現在設定しているホーム都市が表示されたら指を離します。

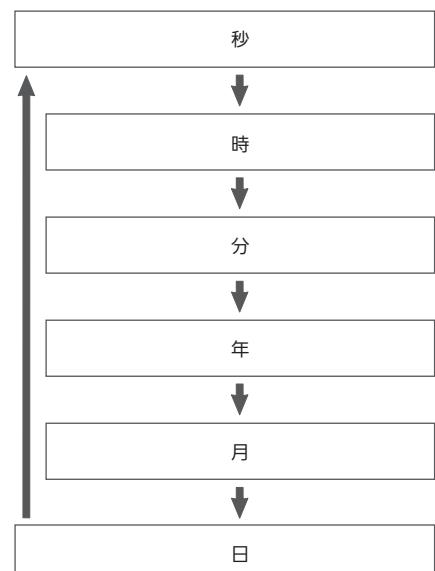


3. D ボタンを押します。

「秒」が点滅します。

4. E ボタンを押して、変更したい値を点滅させます。

● E ボタンを押すごとに、以下の順番で点滅する値が切り替わります。



5. 日時を変更します。

● 「秒」を設定する場合: A ボタンを押すと 00 秒にリセットされます。30~59 秒のときは、1 分繰り上がりります。

● それ以外の値を設定する場合:C または A ボタンで値を変更します。

6. 手順 4,5 を繰り返して、日時を設定します。

7. D ボタンを押して、設定を終了します。

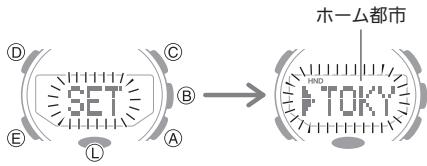
●12時間制/24時間制を切り替える

時刻の表示方法を、12時間制または24時間制に設定できます。

1. 時刻モードにします。

⌚ モードを切り替える

2. Dボタンを2秒以上押し続け、現在設定しているホーム都市が表示されたら指を離します。

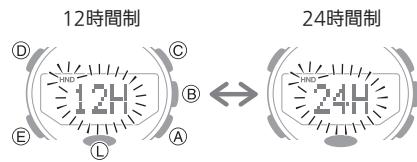


3. Eボタンを4回押します。

[12H] または [24H] が点滅します。



4. Aボタンを押して、[12H] (12時間制) または [24H] (24時間制) を選びます。



5. Dボタンを2回押して、設定を終了します。

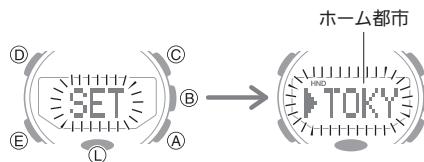
病院内、飛行機内で使うとき

病院内や飛行機内など、スマートフォンと接続しては困るような場合、自動時刻修正を無効にできます。自動時刻修正を有効に戻すときも同じ操作です。

1. 時刻モードにします。

⌚ モードを切り替える

2. Dボタンを2秒以上押し続け、現在設定しているホーム都市が表示されたら指を離します。



3. Eボタンを5回押します。

[RCV] が表示されます。



4. Aボタンを押して、自動時刻修正の設定を変更します。

[OFF]: 自動時刻修正を無効にします。

[ON]: 自動時刻修正を有効にします。

5. Dボタンを2回押して、設定を終了します。

参考

- スマートフォンとペアリングしている場合は、CASIO WATCHES で自動時刻修正を無効にすることもできます。

⌚ CASIO WATCHES で自動時刻修正を無効にする

ワールドタイム

世界38都市とUTC(協定世界時)の時刻を知ることができます。



CASIO WATCHES でワールドタイムを設定する

スマートフォンとペアリングしている場合は、CASIO WATCHES を使ってワールドタイム都市を設定することもできます。

⌚ ワールドタイムを設定する

参考

- CASIO WATCHES でのみ設定できるワールドタイム都市は、時計の操作では設定できません。

ワールドタイムを確認する

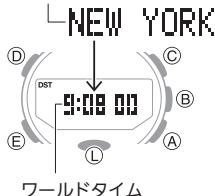
1. ワールドタイムモードにします。

⌚ モードを切り替える

現在設定しているワールドタイム都市が表示された後、その都市の時刻が画面に表示されます。

• Dボタンを押すと、再度ワールドタイム都市を表示できます。

ワールドタイム都市



ワールドタイム

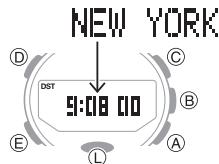
ワールドタイム都市を設定する

ワールドタイムを表示する都市を設定します。サマータイムを実施している地域の場合は、サマータイムを設定することができます。

参考

- 各都市のサマータイムの初期設定(工場出荷時の状態)は[AUTO]です。多くの場合、[AUTO]であれば、設定を変更する必要はありません。

- ワールドタイムモードにします。
① モードを切り替える
- A ボタンまたは C ボタンを押して、設定する都市を表示します。



- サマータイムの設定を変更する場合は、D ボタンを 2 秒以上押し続け、[AUTO]、[OFF]、または [ON] が点滅したら指を離します。



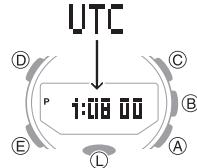
- A ボタンを押して、サマータイムの設定を変更します。
A ボタンを押すごとに、以下の順で設定が切り替わります。
 - [AUTO]
スタンダードタイムとサマータイムが自動で切り替わります。
 - [OFF]
常にスタンダードタイムで表示します。
 - [ON]
常にサマータイムで表示します。
- D ボタンを押して、設定を終了します。

参考

- 都市に[UTC]を選んだ場合、サマータイムの設定を確認したり、切り替えたりすることはできません。
- CASIO WATCHES でワールドタイム都市を設定後に時計を操作して都市を変更した場合、時計からその都市の情報は消去されます。
- ② ワールドタイムを設定する

●ワールドタイム都市を UTC(協定世界時)に設定する

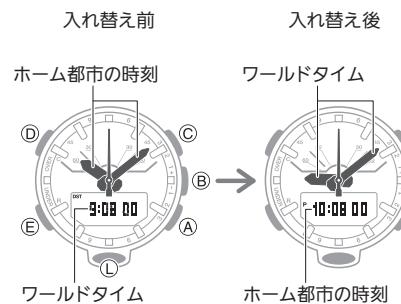
ワールドタイムモードで A ボタンと C ボタンを同時に押すと、ワールドタイム都市が UTC(協定世界時)に設定され、画面に UTC(協定世界時)が表示されます。



ホーム都市の時刻とワールドタイムの時刻表示を入れ替える

ワールドタイムモードで L ボタンを 2 秒以上押し続けると、**HT** **WT** **HT** が点滅し、針が動き始めます。

ホーム都市の時刻とワールドタイムの時刻が入れ替わります。



参考

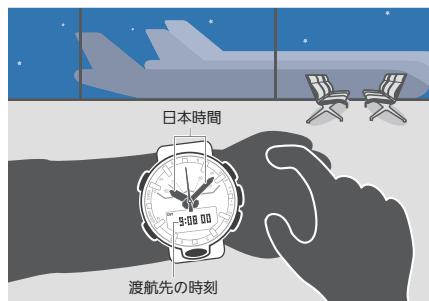
- 海外に渡航するときに、この機能をお使いいただくと便利です。使い方は下記をご覧ください。
- ③ 海外に渡航するときは

海外に渡航するときは

こんな使い方をすれば、スムーズに渡航先の日に変更できます。

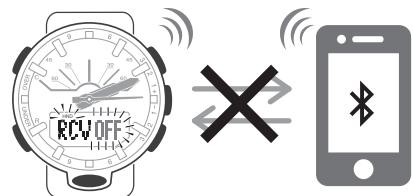
●搭乗前

- 渡航先の時刻をワールドタイムに設定します。



- ④ CASIO WATCHES で設定する場合
- ⑤ 時計を操作して設定する場合

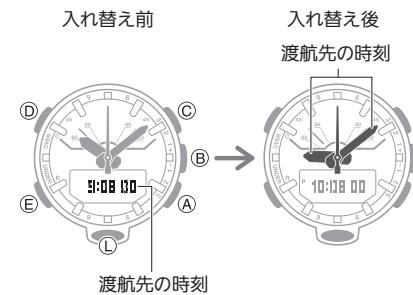
- 自動時刻修正を無効にします。



- ⑥ CASIO WATCHES で設定する場合
- ⑦ 時計を操作して設定する場合

●到着後

- 出発地と渡航先の時刻を入れ替えます。



- ⑧ CASIO WATCHES で設定する場合
- ⑨ 時計を操作して設定する場合

- 自動時刻修正を有効にします。

- ⑩ CASIO WATCHES で設定する場合
- ⑪ 時計を操作して設定する場合

- 時刻を合わせます。

- ⑫ すぐに時刻を合わせたい

アラーム

指定した時刻に音でお知らせします。アラームを5つ設定できます。また、毎正時(00分)に時報を鳴らすこともできます。

- 電池が不足しているときは音が鳴りません。



CASIO WATCHES でアラームをセットする

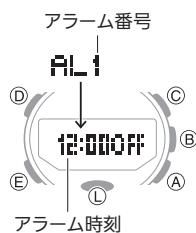
スマートフォンとペアリングしている場合は、CASIO WATCHES を使ってアラームを設定することもできます。

時計の各種機能を設定する

アラームをセットする

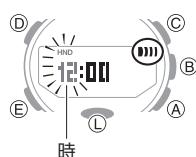
- アラームモードにします。
 モードを切り替える

- AボタンまたはCボタンを押して、セットしたいアラームの番号([AL1]～[AL5])を表示させます。



- Dボタンを2秒以上押し続け、「時」が点滅したら指を離します。

- アラームの設定状態に入ると、 (アラーム)が点灯します。



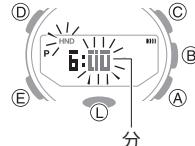
- AボタンまたはCボタンを押して「時」を合わせます。

- 12時間制で表示している場合、午後は[P]が表示されます。



- Eボタンを押します。

- 「分」が点滅します。



- AボタンまたはCボタンを押して「分」を合わせます。

- Dボタンを押して、設定を終了します。

- Eボタンを2秒以上押して、時刻モードに戻ります。

●アラームを止めるには

設定した時刻に音が鳴ったら、いずれかのボタンを押すと、音が止まります。

参考

- 設定した時刻になると、音を10秒間鳴らしてお知らせします。

時報をセットする

- アラームモードにします。

モードを切り替える

- AボタンまたはCボタンを押して、時報([SIG])を表示させます。



- Dボタンを押して、時報のオン/オフを切り替えます。

- オンにすると、 (時報)が点灯します。



アラームや時報を解除する

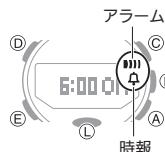
アラームや時報の音が鳴らないようにするには、以下の操作で設定をオフにしてください。

- 再度アラームや時報の音を鳴らすには、アラームや時報の設定をオンにしてください。

参考

- 1つ以上のアラームまたは時報をオフにすると、該当する表示が点灯します。

- すべてのアラームまたは時報をオフにすると、該当する表示が消灯します。



- アラームモードにします。

モードを切り替える

- AボタンまたはCボタンを押して、設定をオフにしたいアラームの番号([AL1]～[AL5])または時報([SIG])を表示させます。



- Dボタンを押して、アラームまたは時報をオフにします。

- Dボタンを押すごとに、オンとオフが切り替わります。

- オフにすると (アラーム)または (時報)が消灯します。



参考

- (アラーム)が消灯しないときは、他のアラームがオンになっています。すべてのアラームを解除したいときは、 (アラーム)が消灯するまで手順2,3を繰り返してください。

方位計測

北の方向や目標の方位を調べることができます。



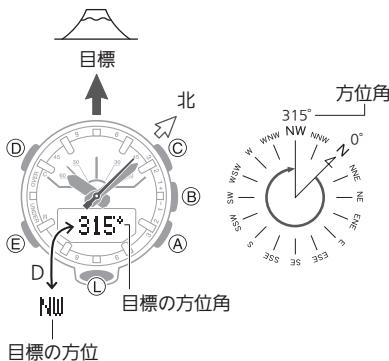
重要

- 正確な計測のために、以下をご覧ください。
 - 方位計測値のずれを補正する
 - 方位計測のご注意

方位を計測する

- 方位計測モードにします。
 - モードを切り替える
 - 方位計測モードに切り替えると、計測が始めります。
- 計測したい目標に時計の12時位置を向けて、水平に保ちます。
 - 秒針が北方位を示します。画面には目標の16方位、または方位角が表示されます。
 - Dボタンで方位または方位角の表示を切り替えることができます。
 - 再計測するときは、Cボタンを押します。

方位の見方



方位:N(北)、E(東)、W(西)、S(南)

参考

- 計測によって示す北方位は磁北です。北方位を真北に変更することもできます。
 - 北方位を真北に設定する(磁気偏角補正)
 - 磁北と真北
- 最初の計測結果を表示後、約1秒ごとに約60秒間計測が続けます。Cボタンを押してから約60秒経過すると、時刻モードに戻ります。
- 計測中は、オートライト機能でライトを点灯することができません。
- 方位計測中にアラームなどの音が鳴ったときやLボタンを押してライトを点灯させたときは、一時的に計測が中止します。アラーム音が止まった後、またはライトが消灯した後に計測が再開します。
- CASIO WATCHES を使って位置情報を記録し、時計上で記録した場所までの距離と方位を表示できます。
 - 現在の位置情報を記録する(ロケーションメモリー)
 - メモリー地点までの距離と方位を確認する(ロケーションインジケーター機能)

●地図の方向と実際の風景を合わせる(整置)

「整置」とは、地図の北方位をコンパス(方位磁針)の北方位に合わせることです。「整置」をすると、地図と地形の関係を把握しやすくなります。この時計を使って「整置」をするには、地図の北方位を、この時計で計測した北方位に合わせてください。「整置」をしたら、地図の方向と周囲の風景を見比べて現在地や目的地をご確認ください。

- 現在地や目的地を確認するには、地図を読むための知識と経験が必要です。

方位を補正する

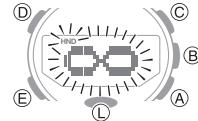
方位計測値のずれを補正する

正確なコンパス(方位磁針)と比較して計測値がずれている場合や登山前に、正しい方位を計測するため、8の字補正または2点補正をしてください。

- 強い磁力がある場所では正しく計測や補正ができません。
 - 方位計測のご注意

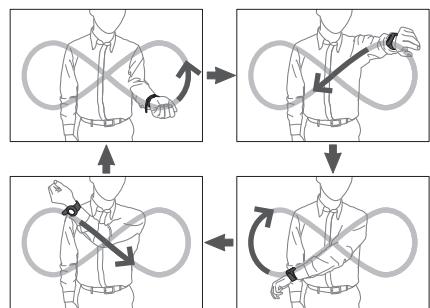
8の字補正

- 方位計測モードにします。
 - モードを切り替える
- Dボタンを2秒以上押し続けます。[SET]が点滅した後、∞を表示したら指を離します。



- Cボタンを押します。

図のように腕を動かして、8の字補正をします。



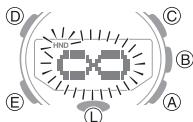
- 手首をひねるように動かしてください。
- 体からなるべく離れたところで動かしてください。
- 補正計測中は∞が点滅から点灯に変わります。
- 補正計測が成功すると[OK]を表示して、方位計測に切り替わります。これで補正の完了です。

参考

- [ERR]が表示されたときは、D以外のボタンを押して、もう一度手順3から操作してください。

2 点補正

- 方位計測モードにします。
-  モードを切り替える
- D ボタンを 2 秒以上押し続けます。[SET] が点滅した後、 を表示したら指を離します。



- E ボタンを押します。

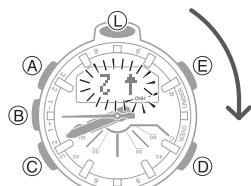
[↑ 1] が表示されます。



- 時計を水平に保ちながら、C ボタンを押します。

1 点目の補正計測が始まり、[WAIT] が表示されます。補正計測が成功すると、[OK] → [TURN] → [180°] → [↓ 2] の順に表示されます。

- できるだけ正確に時計を 180 度回します。



- C ボタンを押します。

- 2 点目の補正計測が始まり、[WAIT] が表示されます。
- 補正計測が成功すると、[OK] を表示して、方位計測に切り替わります。これで補正の完了です。

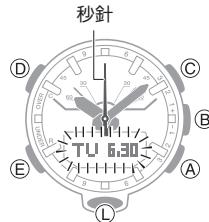
参考

- 補正に失敗すると、[ERR] が表示されます。その場合は、手順 2 から補正をやり直してください。

自動補正

この時計は、自動で方位補正をします。

- 方位補正が始まると秒針が 12 時位置に移動し、表示が点滅します。



参考

- 以下のときに自動で方位補正をします。
 - 時計を腕に装着しているとき
 - 時刻モードのとき
 - 歩いているとき
- 補正に成功すると、24 時間は自動補正をしません。

北方位を真北に設定する(磁気偏角補正)

表示される北方位を磁北ではなく真北にする場合は、磁気偏角の方角(東偏または西偏)と角度を設定します。

 磁北と真北

- 磁気偏角は 1°(度) 単位で、近い方の値を設定してください。
- 例「7.4°(度)」の場合：「7°(度)」に設定
- 例「7°40'(7 度 40 分)」の場合：「8°(度)」に設定

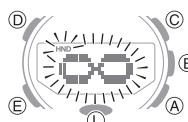
参考

- 「磁気偏角の方角(東偏または西偏)と角度」は、地形図や登山地図のような等高線が描かれた地図に記載されています。また、国土地理院のホームページなどで調べることもできます。

- 方位計測モードにします。

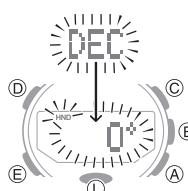
 モードを切り替える

- D ボタンを 2 秒以上押し続けます。[SET] が点滅した後、 を表示したら指を離します。



- E ボタンを 2 回押します。

[DEC] が表示された後、[0°] が表示されます。



- A (East: 東) ボタンまたは C (West: 西) ボタンを押して、磁気偏角の方角と角度を設定します。

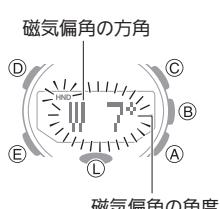
設定範囲：西偏 90°～東偏 90°

[0° (OFF)] : 磁北

[E] : 磁北が真北よりも東(東偏)

[W] : 磁北が真北よりも西(西偏)

- 設定を [0° (OFF)] に戻すには、A ボタンと C ボタンを同時に押します。



- D ボタンを押して、設定を終了します。

磁北と真北

北を示す地理用語には磁北と真北の2種類があります。

磁北：コンパス（方位磁針）が示す北

真北：北極点の方向

下図のように、磁北と真北は一致していません。



参考

- 一般に市販されている地図の「北」は真北のことです。

高度計測

気圧の変化量を計測して、高度を表示します。



重要

- 時計に内蔵の圧力センサーで計測した気圧の変化量を高度に換算します（相対高度計）。そのため、同じ場所で計測しても、気圧が変化すると表示する値も変化します。また、標高や海拔高度とは異なる値を表示することがあります。登山などで使用する場合は、実際に使用する場所の高度（標高）にこまめに補正してから計測することをおすすめします。
- 高度計測値を補正（オフセット）する**
- 高度補正の値および気圧変化によってはマイナス値が表示されることがあります。
- 標高や海拔高度と計測値の差を少なくするために、以下をご覧ください。

高度計測のご注意

方位計測のご注意

使用場所

強い磁力の近くで計測すると、計測値に誤差が発生します。以下の物から離れてご使用ください。

永久磁石（磁気アクセサリーなど）、金属類、高圧線、架線、家庭電化製品（テレビ、パソコン、携帯電話など）

- 室内、特に鉄筋コンクリート構造の建物内では正確な計測はできません。
- 電車、船、飛行機などの乗り物の中では、正確な計測はできません。

保管場所

時計本体が磁気を帯びた場合、方位計測の精度に影響を及ぼす恐れがあります。以下の物の近くには置かないでください。

永久磁石（磁気アクセサリーなど）、金属類、家庭電化製品（テレビ、パソコン、携帯電話など）

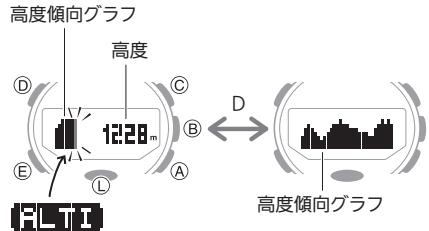
現在地の高度を確認する

- 高度計測モードにします。

○ モードを切り替える

高度計測モードに切り替えると計測が始まり、現在地の高度が表示されます。

- Dボタンを押して、表示を切り替えることができます。



最初の約3分間は1秒ごとに、それ以降は設定した間隔で一定時間高度が計測されます（自動計測）。

- 自動計測の間隔を設定する方法は、以下をご覧ください。

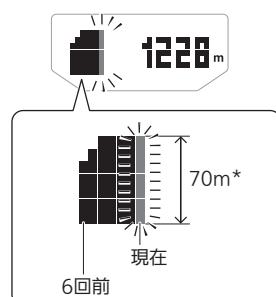
○ 自動計測の間隔を設定する

- 再計測する場合は、Aボタンを押します。
- 時刻モードに戻るには、Eボタンを押します。

参考

- 高度計測モードに切り替えたときに、秒針が時刻を示す場合と高度差を示す場合があります（前回高度を計測したときの状態が保持されています）。秒針の表示は切り替えることができます。
- 基準点からの高度差を確認する**
- 計測範囲：-700m～10,000m（計測単位：1m）
ただし、高度計測値を補正すると、計測範囲は変わります。
- 計測範囲を超えたときは、[---]が表示されます。

高度傾向グラフの見方



* 1つの■が10m

高度計測値を補正(オフセット)する

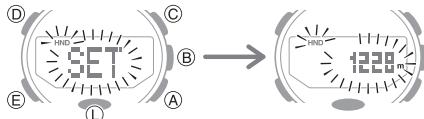
標高と計測値の差を少なくするため、登山の直前など計測の前に高度を補正(オフセット)することをおすすめします。

また、登山の途中でも標高の標識などと照らし合わせてこまめに補正すると、より正確な計測ができます。

参考

- 現在地の標高は、標識、地図、インターネットなどを使って調べることができます。
- 標高と計測値の差が発生する原因には、以下のものがあります。
 - 気圧の変化
 - 大気や標高差による温度変化
- 補正しないで計測すると、標高と計測値の差が大きくなる可能性があります。

- 高度計測モードにします。
○ モードを切り替える
- Dボタンを2秒以上押し続け、[SET]が点滅した後、[SET]が消えたら指を離します。
現在地の高度が表示され、高度オフセットモードになります。



- AボタンまたはCボタンを押して、高度の値を標高や海拔高度に合わせます。
セット範囲:-3,000~10,000m
セット単位:1m
• 高度の設定値を初期設定(工場出荷時)に戻すには、AボタンとCボタンを同時に押します。

- Dボタンを押して、設定を終了します。

基準点からの高度差を確認する

基準とする場所と移動後の高度差を秒針で確認できます。登山やトレッキングのとき、高度基準点を設定すると、基準点からの高度差を簡単に計測できます。

●秒針の表示を切り替える

- 高度計測モードにします。
○ モードを切り替える
- Dボタンを2秒以上押し続け、[SET]が点滅した後、[SET]が消えたら指を離します。
現在地の高度が表示されます。
- Eボタンを3回押します。
[HAND]→[DIFF]または[SEC]に表示が変わります。

- Aボタンを押して、[DIFF]に切り替えます。
Aボタンを押すごとに以下の切り替えができます。
[DIFF]:秒針が高度差を示します。
[SEC]:秒針が現在時刻の秒を示します。
- Dボタンを押して、設定を終了します。

●高度差計測範囲を設定する

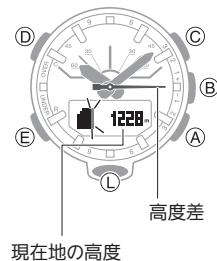
- 高度計測モードにします。
○ モードを切り替える
- Dボタンを2秒以上押し続け、[SET]が点滅した後、[SET]が消えたら指を離します。
現在地の高度が表示されます。
- Eボタンを2回押します。
高度差の計測範囲が表示されます。

- Aボタンを押して、[100m]または[1000m]を選びます。
[100m]:±100mを5m単位で計測
[1000m]:±1000mを50m単位で計測
- Dボタンを押して、設定を終了します。

●計測する

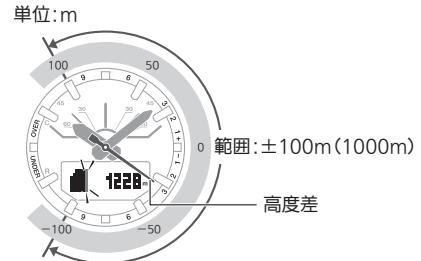
- 地図の等高線を使って、現在地と目的地の高度差を調べます。
- 秒針の表示設定を[DIFF]に切り替えます。
○ 秒針の表示を切り替える
- 現在地の高度を計測します。
○ 現在地の高度を確認する
- Lボタンを2秒以上押し続けて、現在地を高度基準点に設定します。
[DIFF CLR]が点滅から点灯に変わり、現在地の高度が表示されます。

●秒針が高度基準点との高度差を示します(高度差インジケーター)。この時点では、±0mを示します。



- 地図で調べた高度差と秒針が示す高度差を比較しながら、目的地に向かって進みます。
- 地図で調べた高度差と秒針が示す高度差が同じになる地点が目的地付近です。

例:高度差が-30m(-300m)のとき



参考

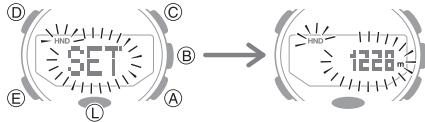
- 高度差が設定した値を超えた場合は、秒針が[OVER]または[UNDER]を示します。
計測範囲を±100mに設定している場合は、±1000mの設定に切り替えてご使用ください。
- 高度計の計測範囲(-700m~10,000m)を超えたときや計測エラーが発生したときは、秒針が45秒位置を示します。

自動計測の間隔を設定する

自動計測の間隔は、5秒または2分から選ぶことができます。

- 高度計測モードにします。
⌚ モードを切り替える
- Dボタンを2秒以上押し続け、[SET]が点滅した後、[SET]が消えたら指を離します。

現在地の高度が表示されます。



- Eボタンを押します。

自動計測の間隔が表示されます。



- Aボタンを押して、自動計測の間隔を[0'05]または[2'00]から選びます。
[0'05]:1秒おきに3分間計測後、5秒おきに約1時間計測
[2'00]:1秒おきに3分間計測後、2分おきに約12時間計測
- Dボタンを押して、設定を終了します。

参考

- 高度計測モードで、[0'05]に設定したときは約1時間、[2'00]に設定したときは約12時間何も操作しないと時刻モードに戻ります。

高度を記録する

計測した高度データを手動で記録することができます。また、自動計測で計測された高度データは、自動で記録されます。

- 記録したデータの確認や削除は、高度記録モードでできます。
⌚ 高度記録の確認

手動で高度データを記録する

- 時刻モード、または高度計測モードにします。

⌚ モードを切り替える

- [REC]が点滅から点灯に変わるまで2秒以上、Aボタンを押し続けます。

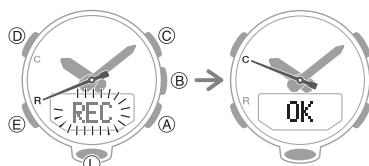
高度と日時が記録されます。

- 高度は、14本まで記録できます。
- 15本目のデータを記録すると、一番古いデータが消去されます。



参考

- ミッションログ機能がオフのとき、高度データを記録した後、高度計測モードの通常状態へ自動で戻ります。
- ミッションログ機能がオンのとき、高度データを記録した後、スマートフォンと接続してデータを転送します。時計とスマートフォンが接続すると、[REC]から[OK]に変わり、秒針が[R]から[C]に移動します。

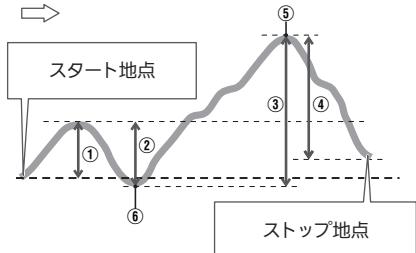


⌚ 移動した場所の高度と経路を記録する(ミッションログ機能)

- 接続に失敗すると、[ERR]を表示します。

自動で高度データを記録する

高度計測モードにすると、以下の高度データが記録されます。記録されるデータは項目ごとに1つです。



最高高度(MAX):⑤

最低高度(MIN):⑥

積算上昇高度(ASC):①+③

積算下降高度(DSC):②+④

* 計測値に15m以上の高度差が生じたときに記録されます。

参考

- 高度計測モード以外のモードに切り替えると、自動計測が終了します。高度計測モードに再び切り替えると、その時点から前回の記録に引き続き積算計測が再開します。
- ミッションログ機能がオンのときは、高度計測モード以外のモードに切り替えても自動計測を継続します。
- 自動計測中、ミッションログ機能がオンの場合、計測ごとにMAX、MIN、ASC、DSCの現記録値と計測値との比較や更新をします。
- ⌚ 移動した場所の高度と経路を記録する(ミッションログ機能)
- 接続に失敗すると、[ERR]を表示します。

高度計測のご注意

温度の影響について

高度を計測するときは、以下のように、できるだけ時計自体の温度を一定に保ってください。温度変化の影響を受けると多少の誤差が出ることがあります。

- 腕につけたままで計測する
- 温度が安定した場所で計測する

高度計測について

• スカイダイビング、ハンググライダー、パラグライダーをしているとき、またはジャイロコプター、グライダーのように短時間で高度が変化する場合は、使用しないでください。

- この時計で計測した高度を、専門的または産業レベルで利用しないでください。
- 航空機内では、機内の気圧で高度を計測するため、機内でアナウンスされる高度と一致しません。

高度計測のしくみ(相対高度)

この時計では、国際民間航空機関(ICAO)が定めている国際標準大気(ISA)の定義をもとに、「相対高度」を表示します。一般的には、高度が上がると気圧は低くなります。

以下の条件下では、正しい計測ができない場合があります。

- 気象条件により、大気圧に変化が生じたとき
- 気温の変化が大きいとき
- 時計が強い衝撃を受けたとき

気圧計測

現在地の気圧、気圧の変化や傾向を確認することができます。



重要

- 正確な計測のために、以下をご覧ください。

○ 気圧計測のご注意

気圧を確認する

- 1. 気圧計測モードにします。

○ モードを切り替える

気圧計測モードに切り替えると計測が始まり、現在の気圧と気圧傾向グラフが表示されます。

- 気圧計測モードに切り替えてから3分間は約5秒ごとに気圧が計測されます。それ以降は、約2分ごと、または約5秒ごとに計測されます。

計測間隔の切り替えはCボタンを2秒以上押し続けます。

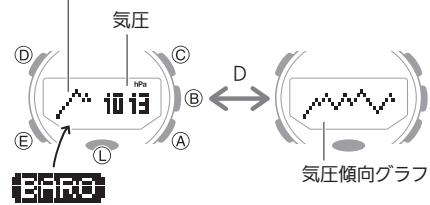
○ 気圧傾向グラフの計測間隔を切り替える



- Dボタンを押して、表示を切り替えることができます。

○ 気圧の変化を確認する

気圧傾向グラフ



- 再計測する場合は、Aボタンを押します。

- 時刻モードに戻るには、Eボタンを2秒以上押し続けます。

参考

- 気圧計測モードに切り替えたときに、秒針が時刻を示す場合と気圧差を示す場合があります(前回気圧を計測したときの状態が保持されています)。秒針の表示は切り替えることができます。

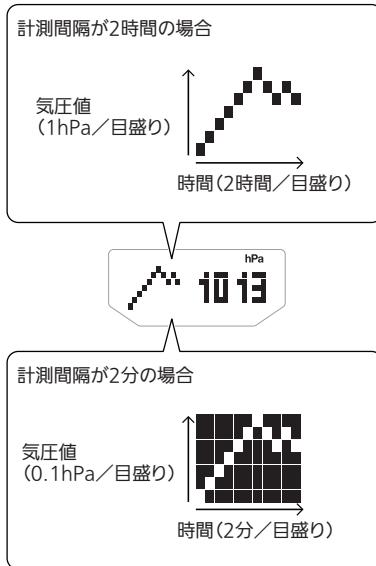
○ 気圧差を確認する

- 気圧計測モードで、約1時間何も操作しないと時刻モードに戻ります。

- 計測範囲は260hPa~1,100hPa(1hPa単位)です。計測範囲を超えたときは、[---]が表示されます。

気圧の変化を確認する

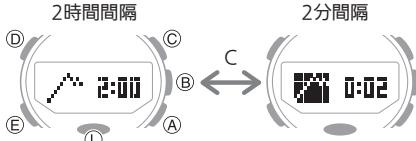
この時計は、2時間ごとまたは2分ごとの気圧をグラフで表示します。過去20時間分または20分間分の気圧の変化をグラフで見ることができます。グラフ右端の■が最新の気圧値です。



●気圧傾向グラフの計測間隔を切り替える

気圧傾向グラフの計測間隔を、2時間間隔、または2分間隔に切り替えることができます。

1. Cボタンを2秒以上押し続けて、計測間隔を切り替えます。



- 気圧傾向グラフが2時間間隔のとき、気圧を2分ごとに計測します。
- 気圧傾向グラフが2分間隔のとき、気圧を5秒ごとに計測します。

参考

- 2分間隔のグラフに切り替えても、24時間後には自動的に2時間間隔のグラフに戻ります。
- 2分間隔のグラフに切り替えた直後は、グラフは表示されません。

●今後の天気を予想する

表示	意味
	グラフが上昇しているときは、気圧が上がり傾向(天気がよくなれる)という目安になります。
	グラフが下降しているときは、気圧が下がり傾向(天気が悪くなる)という目安になります。

参考

- 気圧や高度が大きく変化すると、過去のデータがグラフ表示領域から外れて見えなくなることがあります(見えなくてもデータは存在しています)。
- 気圧傾向インフォメーションが表示されたときは、気圧傾向グラフは表示されません。

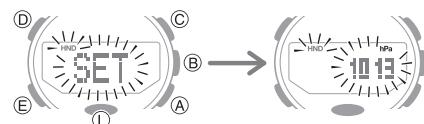
○ 気圧の急激な変化を知らせる

気圧差を確認する

気圧計測モードで計測された現在の値と、2時間ごとまたは2分ごとに自動計測された最新の値の差を秒針で確認できます。

1. 気圧計測モードにします。
○ モードを切り替える
2. Dボタンを2秒以上押し続け、[SET]が点滅した後、[SET]が消えたら指を離します。

現在の気圧が表示され、気圧オフセットモードになります。



3. Eボタンを押します。

[HAND] → [DIFF] または [SEC] に表示が変わります。

4. Aボタンを押して、[DIFF]に切り替えます。

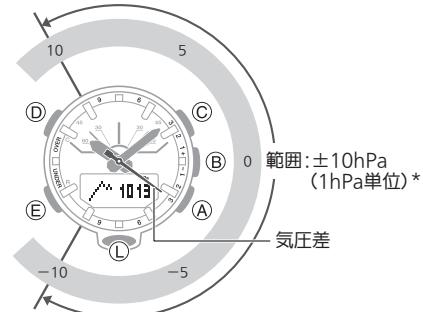
Aボタンを押すごとに以下の切り替えができます。

[DIFF]:秒針が気圧差を示します(気圧差インジケーター)。

[SEC]:秒針が現在時刻の秒を示します。

例: 気圧差が-3hPa(計測間隔2時間)の場合

単位:hPa



* 計測間隔2時間:±10hPa(1hPa単位)
計測間隔2分:±1hPa(0.1hPa単位)

5. Dボタンを押して、設定を終了します。

参考

- 気圧差が+10hPa(計測間隔2時間)または、+1hPa(計測間隔2分)を超えると秒針が[OVER]を、気圧差が-10hPa(計測間隔2時間)または、-1hPa(計測間隔2分)を超えると[UNDER]を表示します。
- 計測範囲(260hPa~1,100hPa)を超えたときや計測エラーが発生したときは、秒針が45秒位置を表示します。

気圧の急激な変化を知らせる

注意すべき気圧の変化(急降下、急上昇、低気圧通過、高気圧通過)を時計が検知したときに、音でお知らせすることができます。また、気圧計測モードや、時刻モードで気圧傾向グラフを表示しているときは、画面に矢印が点滅で表示されます。この矢印で気圧変化の傾向を確認できます。このような告知を気圧傾向インフォメーションと呼びます。

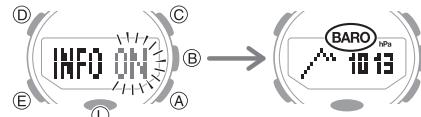
表示	意味
+	気圧が急激に下降した
+	気圧が急激に上昇した
↖	気圧が上昇を続けた後、下降に転じた
↗	気圧が下降を続けた後、上昇に転じた

重要

- 正しく計測するため、高度に変化がない場所で、気圧傾向インフォメーションをオンにしてください(例:山小屋やテント滞在時、海上)。
- 高度に変化があると、気圧も変化します。そのため、正しい計測ができません。登山などで昇降するときは計測しないでください。

- 気圧計測モードにします。
② モードを切り替える

- Aボタンを2秒以上押し続けます。
気圧傾向インフォメーションがオンになると、[INFO ON]が点滅から点灯に変わり、[BARO]が点灯します。



- 気圧傾向インフォメーションをオフにする場合は、再度Aボタンを2秒以上押し続けます。

参考

- 気圧傾向インフォメーションをオンにすると、気圧計測モード以外のモードのときでも2分ごとに気圧を計測します。
- 気圧傾向インフォメーションをオンにしてから24時間経過すると、自動でオフに戻ります。
- 電池が不足しているときは、気圧傾向インフォメーションをオンにすることはできません。
- 電池が不足すると、気圧傾向インフォメーションは自動的にオフになります。

気圧の計測値を補正(オフセット)する

内蔵の圧力センサーは、工場出荷時に調整されているため、通常は補正の必要がありません。ただし、計測値に大きなずれが発生したときは、表示を補正できます。

重要

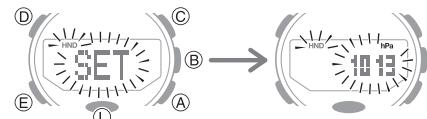
- 補正を誤ると正しい計測結果が得られません。正確な気圧計と照らし合わせて正しい数値に補正してください。

- 気圧計測モードにします。

② モードを切り替える

- Dボタンを2秒以上押し続け、[SET]が点滅した後、[SET]が消えたら指を離します。

現在の気圧が表示され、気圧オフセットモードになります。



- AボタンまたはCボタンを押して、値を変更します。

セット範囲: 260~1,100hPa

セット単位: 1hPa

- 工場出荷時の値に戻すには、AボタンとCボタンを同時に押します。

- Dボタンを押して、設定を終了します。

気圧計測のご注意

- この時計で計測した気圧傾向グラフは、天候を予測する際の目安として使用できます。ただし、公式の天気予報や報道活動では、精密機器として使用しないでください。
- 圧力センサーは、急激な温度の変化に影響を受ける場合があります。その結果、計測した数値に多少の誤差が出ることがあります。

温度計測

現在の気温を計測できます。



重要

- 正確な計測のために、以下をご覧ください。
- 温度計測のご注意

温度を確認する

1. 温度計測モードにします。

○ モードを切り替える

温度計測モードに切り替えると計測が始まり、計測結果が表示されます。

● 温度計測モードに切り替えてから3分間は約5秒ごとに計測されます。それ以降は、約2分ごとに計測されます。

● 再計測する場合は、Aボタンを押します。



参考

- 温度計測モードで、約1時間何も操作しないと時刻モードに戻ります。
- 計測範囲は-10.0°C~60.0°C(0.1°C単位)です。計測範囲を超えたときは、[--.]が表示されます。
- 時刻モードに戻るには、Eボタンを2秒以上押し続けます。

温度計測値を補正(オフセット)する

内蔵の温度センサーは、工場出荷時に調整されています。通常は補正の必要はありません。ただし、計測値に大きなずれが発生したときは、表示を補正できます。

重要

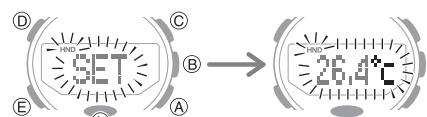
- 正確な温度計と照らし合わせて正しい数値に補正してください。
- 時計を腕から外し、時計本体が周囲の温度になじむまで(20~30分)待ってから、補正してください。

1. 温度計測モードにします。

○ モードを切り替える

2. Dボタンを2秒以上押し続け、[SET]が点滅した後、[°C]が点灯したら指を離します。

温度が表示され、温度オフセットモードになります。



3. AボタンまたはCボタンを押して、温度を補正します。

補正単位:0.1°C

- 工場出荷時の値に戻すには、AボタンとCボタンを同時に押します。

4. Dボタンを押して、設定を終了します。

温度計測のご注意

温度計測は体温、直射日光、湿気の影響を受けます。正確な温度を計測するためには、腕から時計を外して水分を拭き取り、換気が良く直射日光の当たらない所に置いてください。約20~30分で周囲の温度を計測できます。

高度記録の確認

高度記録の確認モードでは、高度計測で記録した手動記録／自動記録のデータを見るることができます。

○ 高度を記録する

記録したデータを見る

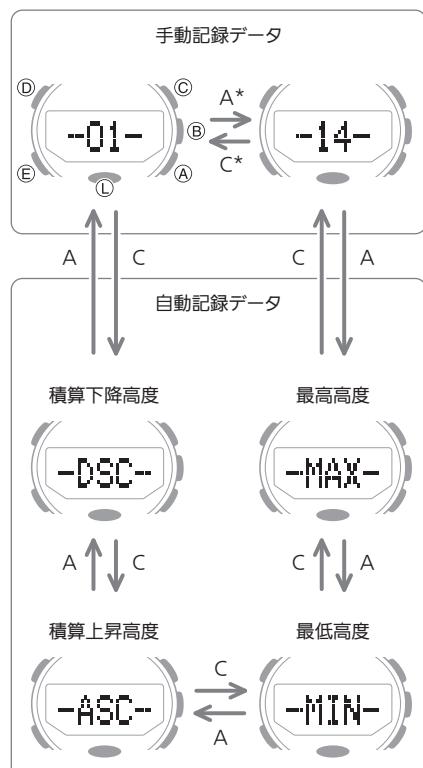
1. 高度記録の確認モードにします。

○ モードを切り替える

高度計測モードで記録したデータの1つが表示されます。

2. AボタンまたはCボタンを押して、表示するデータを切り替えます。

- AまたはCボタンを押し続けると早送りできます。



* 手動記録データは、ボタンを押すごとに1([-01-])から最大で14([-14-])まで選ぶことができます。

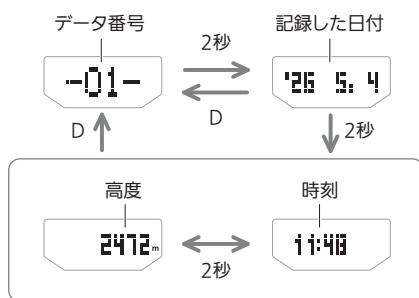
参考

- データ消去後やエラーなどでデータがない場合は、[---]または[0]が表示されます。
- 積算上昇高度(ASC)または積算下降高度(DSC)が99,999mを超えると、0から積算します。
- Dボタンを押すと、表示しているデータの最初の表示に戻ります。

●手動記録データの表示

手動記録データ(01~14)を選び、以下のように表示が切り替わります。

例: 手動記録データ 01

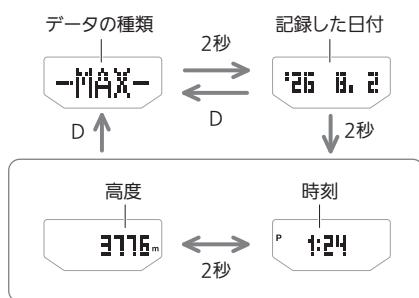


●自動記録データの表示

自動記録データを選び、以下のように表示が切り替わります。

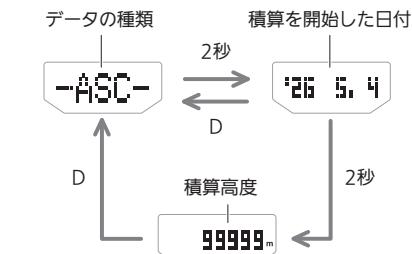
最高高度、最低高度の場合

例: 最高高度



積算上昇高度、積算下降高度の場合

例: 積算上昇高度



データを消去する

●特定のデータを消去する

- 高度記録の確認モードにします。
② モードを切り替える
- AまたはCボタンを押して、消去するデータを選びます。
- Dボタンを約2秒間押し続けて、[CLEAR]が点滅から点灯に変わったらすぐに指をボタンから離します。
選んだデータが消去されます。



- Dボタンを5秒以上押し続けると、すべてのデータが消去されますので、ご注意ください。

●すべてのデータを消去する

[ALL CLR]が点滅から点灯に変わるまで5秒以上Dボタンを押し続けると、すべてのデータが消去されます。



日の出/日の入り時刻

ホーム都市の日の出と日の入り時刻を確認できます。

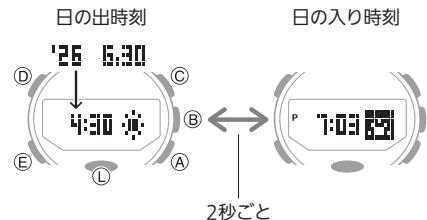


日の出/日の入り時刻を調べる

- 日の出/日の入りモードにします。

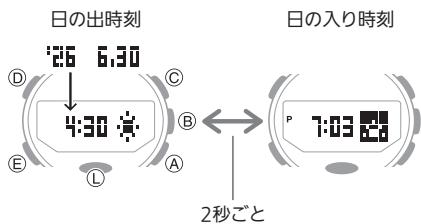
② モードを切り替える

ホーム都市の今日の日の出と日の入り時刻を2秒ごとに表示します。



日にちを指定して日の出/日の入り時刻を調べる

1. 日の出/日の入りモードにします。
⌚ モードを切り替える
 2. A ボタンまたは C ボタンを押して、日にちを設定します。
設定した日にちの日の出と日の入り時刻が表示されます。



参考

- 日の出/日の入り時刻は、時計内部で計算して出力します。計算結果には誤差があり、高緯度ほど誤差が大きくなります。
 - 計算結果が出力できないとき、または南緯 65.0° ～北緯 65.0° を超えた地域では、「---」が表示されます。

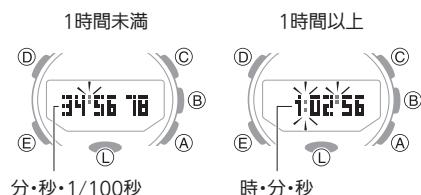
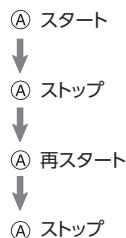
ストップウォッチ

計測開始から 1 時間は 1/100 秒単位で、それ以降は 1 秒単位で最大 24 時間計測できます。通常の計測のほかに、スプリットタイムも計測できます。



計測する

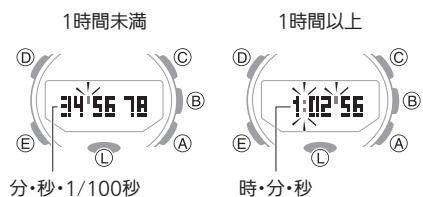
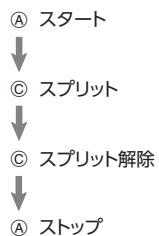
1. ストップウォッチモードにします。
⌚ モードを切り替える
 2. 以下の操作で計測します。



3. C ボタンを押して、計測をリセットします。

スプリットタイムを計測する

1. ストップウォッチモードにします。
⌚ モードを切り替える
 2. 以下の操作で計測します。



3. C ボタンを押して、計測をリセットします。

タイマー

設定した時間をカウントダウンします。残り時間がゼロになると音でお知らせします。

- 電池が不足しているときは音が鳴りません。



CASIO WATCHES でタイマーをセットする

スマートフォンとペアリングしている場合は、CASIO WATCHES を使ってタイマーの時間を設定することもできます。

- 時計の各種機能を設定する

時間を設定する

タイマーは、1分単位で 24 時間まで設定できます。

- タイマーモードにします。
② モードを切り替える
- D ボタンを 2 秒以上押し続け、「分」が点滅したら指を離します。
「分」を設定できるようになります。



- A ボタンまたは C ボタンを押して、タイマーの「分」を設定します。

- E ボタンを押します。
「時」を設定できるようになります。



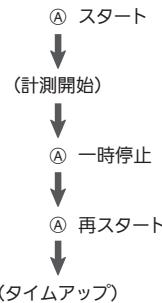
- A ボタンまたは C ボタンを押して、タイマーの「時」を設定します。
- D ボタンを押して、設定を終了します。

タイマーを使う

- タイマーモードにします。

② モードを切り替える

- 以下の操作で計測します。



● 残り時間がゼロになると、音を 10 秒間鳴らしてお知らせします。

● 一時停止中に C ボタンを押すと、タイマーをリセットできます。

- いずれかのボタンを押して、音を止めます。

歩数計測

ウォーキングや日常生活などで歩いた歩数を計測します。



歩数を計測する

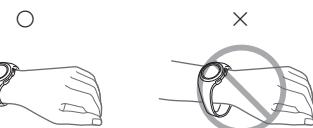
時計を正しく装着して、ウォーキングや普段通りの生活をしていれば、歩数を計測します。

重要

● この時計は、腕に装着する歩数計のため、実際の歩行とは関係のない腕の動きも検知して歩数としてカウントしてしまうことがあります。また、歩行中の腕の動かし方によっては、正しく計測できないことがあります。

● 準備

正しい歩数を計測するには、時計の文字板を手首の外側にし、バンドをしっかりと締めて装着してください。緩めに装着すると、正しく計測できない可能性があります。



●計測する

歩行を始めると、歩数をカウントします。

●歩数を確認する

歩数表示に切り替えます。

⌚ 各モードの概略

参考

- 歩数は、999,999 歩まで計測できます。100 万歩以上は 999,999 歩と表示されます。
- 誤カウントを防ぐため、歩行開始から約 10 秒はカウント表示が増えません。約 10 秒以上歩行があると、それまでの歩行を追加した歩数が表示されます。
- 毎日午前 12 時(深夜 0 時)にカウントがリセットされます。
- 消費電力をおさえるため、時計を外した状態(時計が全く動かない状態)で 2~3 分以上操作しない状態が続くと、計測を止めて節電します。

正しく計測できないとき

次のような場合は、正しく計測できることがあります。

- スリッパ、サンダル、草履など、すり足が起きやすい履物での歩行
- タイルやカーペット、雪道など、すり足が起きやすい路面を歩行
- 不規則な歩き方(混雑した場所や行列で少し歩いては止まるを繰り返すなど)
- 極端にゆっくりした歩行や極端に速いランニング
- ショッピングカートやベビーカーを押していた場合
- 振動の多い場所や、乗り物(自転車など)での使用の場合
- 手や腕だけを頻繁に動かすような動作(手拍子、うちわをあおぐなど)をしていた場合
- 手をつないで歩く、杖を突くなど、手と足がばらばらの動きになる場合
- 歩行以外の生活活動(掃除など)
- 利き腕に装着した場合
- 10 秒以下の歩行

針の補正

強い磁気や衝撃を受けると、針の時刻とデジタル表示の時刻が合わなくなることがあります。そのようなときは、針の位置を補正します。

CASIO WATCHES で針の位置を補正する

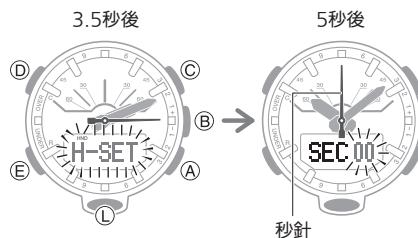
スマートフォンとペアリングしている場合は、CASIO WATCHES を使って針の位置を補正することもできます。

⌚ 針の位置を補正する

針の位置を補正する

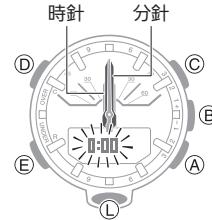
- 時刻モードにします。
⌚ モードを切り替える
- D ボタンを 5 秒以上押し続け、[00] が点滅したら指を離します。

秒針を補正できるようになります。



- 秒針が 12 時位置になっていないときは、A ボタンまたは C ボタンを押して秒針を 12 時位置に合わせます。
- E ボタンを押します。

時分針を補正できるようになります。



- 時分針が 12 時位置になっていないときは、A ボタンまたは C ボタンを押して時分針を 12 時位置に合わせます。
- D ボタンを押して、設定を終了します。

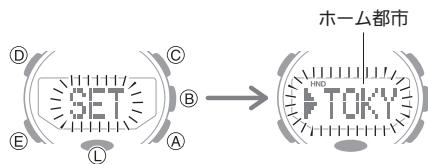
その他の設定

時計の各種設定を変更できます。

ボタンの操作音を設定する

ボタンを押したときに音が鳴る/鳴らないを設定できます。

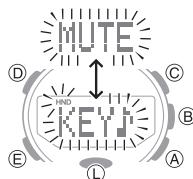
- 時刻モードにします。
⌚ モードを切り替える
- D ボタンを 2 秒以上押し続け、現在設定しているホーム都市が表示されたら指を離します。



- E ボタンを 2 回押します。
[KEY♪] または [MUTE] が点滅します。



- A ボタンを押して、[KEY♪] または [MUTE] を選びます。
[KEY♪]: 操作音が鳴ります。
[MUTE]: 操作音が鳴りません。



- D ボタンを 2 回押して、設定を終了します。

参考

- 操作音が鳴らないように設定しても、アラームやタイマーの音は鳴ります。

活動量の計測時に高度差を反映する(高度差反映機能)

活動量の計測時に高度差を反映する機能のオン/オフを切り替えることができます。

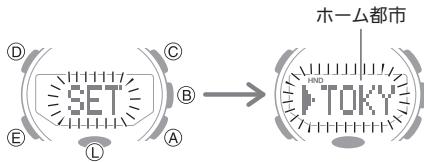
参考

- 活動量算出時に高度差情報を使用することで、より正確な活動量を算出することができます。
- CASIO WATCHES で身長、体重を設定し、活動量を計算します。
時計では表示されません。

1. 時刻モードにします。

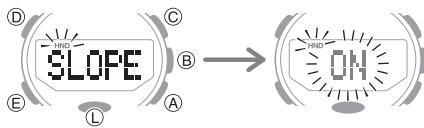
⌚ モードを切り替える

2. D ボタンを 2 秒以上押し続け、現在設定しているホーム都市が表示されたら指を離します。



3. E ボタンを 6 回押します。

[SLOPE] が表示されてから [ON] または [OFF] が点滅します。



4. A ボタンを押して、[ON] または [OFF] を選びます。

[ON]:活動量の計測時に高度差を反映します。

[OFF]:活動量の計測時に高度差を反映しません。

5. D ボタンを 2 回押して、設定を終了します。

時計の設定をリセットする

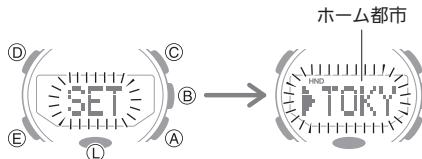
時計の以下の設定を、お買い上げ時の状態に戻すことができます。

- 時計の各種設定
- 方位計
- 高度計
- 気圧計
- 温度計
- 高度計測記録
- 歩数データ
- ストップウォッチ
- タイマー
- アラーム

1. 時刻モードにします。

⌚ モードを切り替える

2. D ボタンを 2 秒以上押し続け、現在設定しているホーム都市が表示されたら指を離します。



3. D ボタンを押します。

「秒」が点滅します。



4. C ボタンを 5 秒以上押し続け、[RESET] が点滅から点灯に変わったら指を離します。



5. D ボタンを押して、設定を終了します。

重要

- ミッションログ機能がオンのときは、リセット操作できません。
⌚ 移動した場所の高度と経路を記録する(ミッションログ機能)

参考

- 時計をリセットすると、時計からスマートフォンのペアリング情報が削除され、スマートフォンとのペアリングが解除されます。

仕様一覧

精度:

スマートフォンとの通信による時刻合わせができない場合は、平均月差±15 秒

基本機能:

- アナログ部
時・分(10 秒運針)・秒
- デジタル部
時・分・秒・月・日・曜日
午後(P)、24 時間制表示
フルオートカレンダー(2000~2099 年)

方位計測機能:

- 計測範囲 0°~359°
- 計測単位 液晶部 1°、針部 6°
- 方位連続計測(1 分)
- 北方位指針機能
- 方位補正機能(2 点補正、8 の字補正、磁気偏角補正)
- 自動方位補正機能

高度計測機能(相対高度計):

- 計測範囲 -700m~10,000m
- 表示範囲 -3,000m~10,000m
- (高度補正により、上記の範囲内で、任意の 10,700m の表示が可能)
- 計測単位 1m
- 高度計測間隔設定(2 分/5 秒)
- 高度補正機能
- 高度傾向グラフ
- 高度差計測機能(-100~+100m/-1,000~+1,000m)
- 高度メモリー機能
- (手動記録データ:ボタン操作で高度、年月日、および時刻を最大 14 本メモリー、自動記録データ:最高高度、最低高度、積算上昇高度、積算下降高度を 1 本メモリー)

気圧計測機能:

- 計測範囲 260hPa~1,100hPa
- 表示範囲 260hPa~1,100hPa
- 計測単位 1hPa
- 気圧傾向グラフ
- 気圧差インジケーター(-10~+10hPa/-1~+1hPa)
- 気圧傾向インフォメーション

温度計測機能:

- 計測範囲 -10.0°C~60.0°C
- 表示範囲 -10.0°C~60.0°C
- 計測単位 0.1°C
- 温度調整機能

センサー精度：

方位センサー

計測精度 ±10°以内
(精度保証温度範囲 10°C～40°C)

方位の針表示では±2 目盛以内

圧力センサー

計測精度 ±3hPa 以内
(高度計測精度 ±75m 以内)

- 精度保証温度範囲 -10°C～40°C
- 強い衝撃を与えた場合、極端な温度環境下に放置したりすると、精度に対して悪影響を与えることがあります。

温度センサー

計測精度 ±2°C 以内
(精度保証温度範囲 -10°C～60°C)

歩数計機能：

3 軸加速度センサーによる歩数計測

歩数表示範囲 0～999,999 歩

歩数リセット 毎日 0 時に自動リセット

歩数精度 ±3% (振動試験機による)

パワーサービング機能

日の出/日の入り機能：

日の出/日の入り時刻表示 (計算結果が出力できないとき、または南緯 65.0°～北緯 65.0°を超えた地域では、[--:--] を表示)

日付セレクト機能

ストップウォッチ機能：

計測単位 1/100 秒 (1 時間未満)、1 秒 (1 時間以上)

計測範囲 23 時間 59 分 59 秒 (24 時間計)

計測機能 通常計測、スプリット計測

タイマー機能：

セット単位 1 分

計測範囲 1 分～24 時間

計測単位 1 秒

タイマー報音時間 10 秒間

アラーム機能：

時刻アラーム

アラーム数 5 本

セット単位 時・分

アラーム報音時間 10 秒間

時報 每正時に電子音で報知

ワールドタイム機能：

世界 38 都市 (38 タイムゾーン) と UTC (協定世界時) の時刻を表示

サマータイム自動設定機能

ホームタイムの都市入替機能

UTC ダイレクト呼び出し機能

モバイルリンク機能：

自動時刻修正機能

決まった時刻に自動で時計を合わせる

ワンタッチ時刻修正

手動で接続して時刻を合わせる

携帯電話探索機能

時計操作により、スマートフォンの音を鳴らす

ワールドタイム

約 300 都市の時刻を時計に設定する

サマータイム自動切り替え機能

スタンダードタイム/サマータイムを自動で切り替える

ミッションログ機能

移動した場所の高度と経路を記録

ロケーションインジケーター機能
時計上で登録した場所までの方位と距離を表示

高度自動補正機能

決まった時刻に自動で高度を合わせる

タイマー設定

アラーム設定

モードの並び順とモードの数を設定

時刻モードの表示項目設定

高度計設定

歩数データ転送機能

消費カロリー算出 (速度情報+高度情報)

針位置補正機能

通信仕様

Bluetooth®

周波数帯域 2400MHz～2480MHz

最大送信電力 0dBm (1mW)

通信距離 ~2m (環境により変化)

その他：

高輝度ダブル LED ライト (オートライト、残照機能)、ライト点灯時間切り替え、電池切れ予告機能、操作音オン/オフ、針退避機能

使用電池：

CR2025 1 個 (電池別途販売)

公称電圧 3V

電池寿命 約 2 年

使用条件

自動時刻修正 4 回/日

アラーム 1 回 (10 秒間)/日

ライト点灯 1 回 (1.5 秒)/日

方位計測 連続計測 60 秒を 20 回/月

登山 1 回/月

- 高度計測

1 秒ごと 3 分間 +5 秒ごと 57 分間

- 気圧傾向インフォメーション計測

1 秒ごと 3 分間 +2 分ごと 23 時間 57 分間

- ミッションログ計測

2 分ごと 12 時間

- ロケーションインジケーター計測

3 分間を 10 回

歩数計測 12 時間/日

自動方位補正用計測 10 回/日

気圧傾向グラフ計測 12 回/日

改良などのため、仕様は予告なく変更されることがあります。

補足

操作説明以外で必要な情報はここにまとめています。必要に応じてご覧ください。

都市一覧

都市	UTC から の時差
UTC	協定世界時
LONDON	ロンドン
PARIS	パリ
ATHENS	アテネ
JEDDAH	ジェッダ
TEHRAN	テヘラン
DUBAI	ドバイ
KABUL	カブール
KARACHI	カラチ
DELHI	デリー
KATHMANDU	カトマンズ
DHAKA	ダッカ
YANGON	ヤンゴン
BANGKOK	バンコク
HONG KONG	香港
EUCLA	ユークラ
TOKYO	東京
ADELAIDE	アデレード
SYDNEY	シドニー
LORD HOWE ISLAND	ロードハウ島
NOUMEA	ヌーメア
WELLINGTON	ウェリントン
CHATHAM ISLAND	チャタム島
NUKU'ALOFA	ヌクアロファ
KIRITIMATI	キリスイマスイ 島
BAKER ISLAND	ベーカー島
PAGO PAGO	パゴパゴ
HONOLULU	ホノルル
MARQUESAS ISLANDS	マルキーズ諸島
ANCHORAGE	アンカレジ
LOS ANGELES	ロサンゼルス
DENVER	デンバー
CHICAGO	シカゴ
NEW YORK	ニューヨーク
HALIFAX	ハリファックス
ST. JOHN'S	セントジョンズ
RIO DE JANEIRO	リオデジャネイ ロ
F. DE NORONHA	フェルナンド・ デ・ノロニャ
PRAIA	Praia

- この表は 2025 年 1 月現在のものです。
- タイムゾーンの変更により、UTC からの時差は上表と異なる可能性があります。その場合、スマートフォンと接続すると、時計のタイムゾーン情報が最新の状態に更新されます。

サマータイム期間一覧

サマータイムを導入している都市でサマータイムの設定を [AUTO] にすると、以下のタイミングで時刻が切り替わります。

参考

- 現在地のサマータイムの開始、終了タイミングが変更になるなどで下表と異なることがあります。その場合は、スマートフォンと接続すると、ホーム都市とワールドタイム都市の新しいサマータイムの情報が時計に送られます。スマートフォンと接続しない場合は、手動でサマータイムの設定を切り替えてください。

都市名	サマータイム開 始	サマータイム終 了
ロンドン	3月最終日曜 1 時	10月最終日曜 2 時
パリ	3月最終日曜 2 時	10月最終日曜 3 時
アテネ	3月最終日曜 3 時	10月最終日曜 4 時
テヘラン	3月 22 日または 3月 21 日の 0 時	9月 22 日または 9月 21 日の 0 時
シドニー、 アデレード	10月第 1 日曜 2 時	4月第 1 日曜 3 時
ロードハウ 島	10月第 1 日曜 2 時	4月第 1 日曜 2 時
ウェリント ン	9月最終日曜 2 時	4月第 1 日曜 3 時
チャタム島	9月最終日曜 2 時 45 分	4月第 1 日曜 3 時 45 分
アンカレジ	3月第 2 日曜 2 時	11月第 1 日曜 2 時
ロサンゼル ス	3月第 2 日曜 2 時	11月第 1 日曜 2 時
デンバー	3月第 2 日曜 2 時	11月第 1 日曜 2 時
シカゴ	3月第 2 日曜 2 時	11月第 1 日曜 2 時
ニューヨー ク	3月第 2 日曜 2 時	11月第 1 日曜 2 時
ハリファッ クス	3月第 2 日曜 2 時	11月第 1 日曜 2 時
セントジョ ンズ	3月第 2 日曜 2 時	11月第 1 日曜 2 時
リオデジャ ネイロ	11月第 1 日曜 0 時	2月第 3 日曜 0 時または 2月第 4 日曜 0 時

- この表は 2022 年 7 月現在のものです。

対応するスマートフォン

本機と通信できるスマートフォンについてはカシオホームページでご確認いただけます。

https://world.casio.com/os_mobile/wat/

商標、登録商標について

- Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、カシオ計算機(株)はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- iPhone、App Store は、米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。
- iOS は米国シスコの商標または登録商標です。
- iPhone 商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- Android および Google Play™ は、Google LLC の商標または登録商標です。
- その他の会社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。

困ったときは

ペアリングできない

Q1 時計とスマートフォンが一度も接続(ペアリング)できない

機種は対応していますか？

お使いのスマートフォンと OS が対応機種となっているかご確認ください。
対応機種についてはカシオホームページをご覧ください。

https://world.casio.com/os_mobile/wat/

CASIO WATCHES をインストールしましたか？

時計と接続するためには、CASIO WATCHES をスマートフォンにインストールする必要があります。
① アプリケーションをインストールする

Bluetooth は設定しましたか？

スマートフォンの Bluetooth を設定してください。設定方法の詳細についてはスマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

iPhone をお使いの方

- 「設定」→「Bluetooth」→オン
- 「設定」→「プライバシー」→「Bluetooth」→「CASIO WATCHES」→オン

Android をお使いの方

- Bluetooth をオンにしてください。

上記以外

一部のスマートフォンで CASIO WATCHES を使用する場合、スマートフォンで BT Smart の設定を無効にする必要があります。設定方法の詳細についてはスマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

ホーム画面で「メニュー」→「本体設定」→「Bluetooth」→「メニュー」→「BT Smart 設定」→「無効にする」

再接続できない

Q1 時計とスマートフォンが再接続できない

CASIO WATCHES は起動していますか？

CASIO WATCHES が終了していると、時計とスマートフォンの再接続ができません。スマートフォンのホーム画面で「CASIO WATCHES」アイコンをタップした後、秒針が[R]の位置を 2 回示すまで 2 秒以上、時計の B ボタンを押し続けてください。



スマートフォンを確認しましたか？

スマートフォンの電源を入れ直し、「CASIO WATCHES」アイコンをタップしてから、秒針が[R]の位置を 2 回示すまで 2 秒以上、時計の B ボタンを押し続けてください。

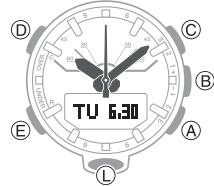


タイマーで計測中ですか？

タイマーの残り時間が 30 秒以下のときは、スマートフォンと接続できません。タイマーの計測を停止してから、スマートフォンと接続してください。

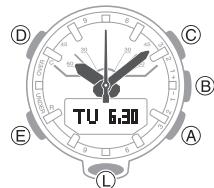
Q2 スマートフォンの機内モードを有効にしたら接続できなくなった

スマートフォンの機内モードを有効にすると、時計と接続できません。スマートフォンの機内モードを解除してから、スマートフォンのホーム画面で「CASIO WATCHES」アイコンをタップした後、秒針が[R]の位置を 2 回示すまで 2 秒以上、時計の B ボタンを押し続けてください。



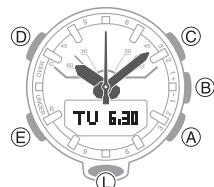
Q3 スマートフォンの Bluetooth をオフからオフにしたら接続できなくなった

スマートフォンの Bluetooth をオフからオフにし、ホーム画面で「CASIO WATCHES」アイコンをタップした後、秒針が[R]の位置を 2 回示すまで 2 秒以上、時計の B ボタンを押し続けてください。



Q4 スマートフォンの電源を切ったら接続できなくなった

スマートフォンの電源を入れ、「CASIO WATCHES」アイコンをタップしてから、秒針が[R]の位置を 2 回示すまで 2 秒以上、時計の B ボタンを押し続けてください。



どうしても接続できない場合

Q1 どうしてもスマートフォンと時計を接続できない

スマートフォンを確認しましたか？

スマートフォンの電源を入れ直し、「CASIO WATCHES」アイコンをタップしてから、秒針が[R]の位置を2回示すまで2秒以上、時計のBボタンを押し続けてください。



ペアリングをやり直しましたか？

CASIO WATCHES とスマートフォンからペアリング情報を削除した後、ペアリングをやり直してください。

- ⌚ CASIO WATCHES からペアリング情報を削除する
- ⌚ スマートフォンのペアリング情報を削除する
- ⌚ ③ペアリングする

それでも接続できない場合

時計からペアリング情報を削除した後、ペアリングをやり直してください。

- ⌚ 時計のペアリング情報を削除する
- ⌚ ③ペアリングする

スマートフォンを機種変更した場合

Q1 今使っている時計を別のスマートフォンと接続したい

お使いになっている時計と接続したいスマートフォンをペアリングしてください。

- ⌚ スマートフォンを買い替えたとき

Bluetooth接続による自動時刻修正機能

Q1 どのタイミングで時刻を合わせるのですか？

時刻合わせのタイミングは、午前12時半頃、午前6時半頃、午後12時半頃、午後6時半頃で、それぞれの時刻になると自動で接続して時刻が合います。時刻合わせが終了すると自動で接続が解除されます。

Q2 自動修正の時刻になっても時刻が合わない

時刻合わせのタイミングが遅れていますか？

都市の時刻を入れ替えたり、手動で時刻を合わせたりすると、それから24時間は自動時刻修正が起動しません。これらの操作の後、24時間経過すると自動時刻修正が機能するようになります。

自動時刻修正は有効になっていますか？

自動時刻修正を無効にしていると、時刻合わせのタイミングになっても時刻合わせを開始しません。自動時刻修正を有効にしてください。

- ⌚ 病院内、飛行機内で使うとき

Q3 正しい時刻が表示されない

スマートフォンが圏外の状態になっているなどでネットワークに接続できない場合は、正しい時刻が表示されない可能性があります。その場合は、スマートフォンをネットワークに接続して時刻を合わせてください。

高度計測

Q1 同じ場所なのに計測値が異なる 標高や海拔高度と計測値に差がある 正確な高度計測ができない

時計に内蔵されている圧力センサーで計測した気圧の変化量を、高度に換算しています。そのため、同じ場所で計測しても、気圧が変化すると表示される値が変わります。また、標高や海拔高度とは異なる値が表示されることがあります。登山などで使用する場合は、実際に使用する場所の高度（標高）に、こまめに補正してから計測されることをおすすめします。

- ⌚ 高度計測値を補正（オフセット）する

Q2 高度差を計測したら、秒針が45秒位置を示した

高度計測値が計測範囲内（-700m～10,000m）を超えたときは、秒針が45秒位置を示します。[ERR]が表示されたときは、センサーの異常の可能性があります。

- ⌚ 基準点からの高度差を確認する

Q3 計測中に[ERR]が表示された

センサーの異常の可能性があります。再度計測してください。

何回か計測しても[ERR]が表示される場合は、「修理に関するお問合せ先」（「取扱説明書」を参照）にご相談ください。

方位計測

Q1 画面の表示全体が点滅している

異常磁気を検出しました。強い磁力がある場所から離れて、再計測してください。

○ 方位計測のご注意

- 再計測しても画面の表示が点滅する場合は、時計本体が磁気を帯びている可能性があります。強い磁力がある場所から離れてから、8の字補正または2点補正をした後、計測してください。

○ 方位計測値のずれを補正する

Q2 計測中に[ERR]が表示された

センサー異常時、または強い磁力の近くで計測したときに表示されます。強い磁力がある場所から離れて、再度計測してください。何回か計測しても[ERR]が表示される場合は、「修理に関するお問合せ先」(「取扱説明書」を参照)にご相談ください。

○ 方位計測のご注意

Q3 8の字補正または2点補正実施後、[ERR]が表示された

[ERR]が表示された場合、センサーの異常が考えられます。

- [ERR]表示が約1秒後に消えた場合、もう一度補正してください。
- 何回か操作しても、[ERR]が表示されるときは、「修理に関するお問合せ先」(「取扱説明書」を参照)にご相談ください。

Q4 予備のコンパス(方位磁針)と比較して、計測した方位が異なる

強い磁力がある場所から離れて、2点補正をした後、計測してください。

○ 方位計測値のずれを補正する

○ 方位計測のご注意

Q5 同じ場所で計測結果が異なる 室内で方位を計測できない

強い磁力がある場所から離れて、計測してください。

○ 方位計測のご注意

ロケーションメモリー機能

Q1 ロケーションメモリーができない

ペアリングされていますか？

時計とスマートフォンがペアリングされていないと、ロケーションメモリーの操作はできません。時計とスマートフォンをペアリングしてください。
○ ③ ペアリングする

スマートフォンが位置情報を取得できる状態になっていますか？

スマートフォンで、CASIO WATCHES の位置情報の使用を許可していないと、ロケーションメモリーは使用できません。位置情報の使用を許可してください。

スマートフォンがGPSを取得できる環境にいますか？

以下の環境では、GPSを取得しにくい場合があります。

- 上空の見える範囲が狭い場所
 - 樹木やビルの近く
 - 駅や空港などの混雑した場所
 - 交通量が多く電波障害がある場所
 - 電車の架線、高圧電線やテレビ塔の近く
- 以下の場所では、GPS電波を受信できません。
- 上空が見えない場所
 - 地下、トンネル内、水中
 - 屋内(窓の近くでは受信できことがあります)
 - 無線通信機器など電磁波を発する機器の近く

ロケーションインジケーター機能

Q1 ロケーションインジケーターが表示されない

ペアリングされていますか？

時計とスマートフォンがペアリングされていないと、ロケーションインジケーターの操作はできません。時計とスマートフォンをペアリングしてください。
○ ③ ペアリングする

ロケーションメモリーを実施しましたか？

ロケーションメモリーで位置情報の記録がないと、ロケーションインジケーターは表示されません。ロケーションメモリーで位置情報を記録してください。

○ 現在の位置情報を記録する(ロケーションメモリー)

スマートフォンが位置情報を取得できる状態になっていますか？

スマートフォンで、CASIO WATCHES の位置情報の使用を許可していないと、ロケーションインジケーター機能は使用できません。位置情報の使用を許可してください。

スマートフォンがGPSを取得できる環境にいますか？

以下の環境では、GPSを取得しにくい場合があります。

- 上空の見える範囲が狭い場所
 - 樹木やビルの近く
 - 駅や空港などの混雑した場所
 - 交通量が多く電波障害がある場所
 - 電車の架線、高圧電線やテレビ塔の近く
- 以下の場所では、GPS電波を受信できません。
- 上空が見えない場所
 - 地下、トンネル内、水中
 - 屋内(窓の近くでは受信できことがあります)
 - 無線通信機器など電磁波を発する機器の近く

気圧計測

Q1 気圧差を計測したら、秒針が 45 秒位置を示した

気圧計測値が計測範囲内(260hPa~1,100hPa)を超えたときは、秒針が 45 秒位置を示します。[ERR] が表示されたときは、センサーの異常の可能性があります。

○ 気圧を確認する

Q2 計測中に [ERR] が表示された

センサーの異常の可能性があります。再度計測してください。何回か計測しても [ERR] が表示される場合は、「修理に関するお問合せ先」(「取扱説明書」を参照)にご相談ください。

温度計測

Q1 計測中に [ERR] が表示された

センサーの異常の可能性があります。再度計測してください。何回か計測しても [ERR] が表示される場合は、「修理に関するお問合せ先」(「取扱説明書」を参照)にご相談ください。

ワールドタイム

Q1 設定したワールドタイム都市の時刻がずれている

サマータイム設定(スタンダードタイム/サマータイム)が正しくない可能性があります。
○ ワールドタイム都市を設定する

歩数計

Q1 歩数が正しく表示されない

本機は腕に装着する歩数計のため実際の歩行とは関係のない腕の動きも検知し歩数としてカウントしてしまうことがあります。

○ 歩数計測

また、時計の装着方法や歩行中の腕の動かし方によっては、正しくカウントできないことがあります。

○ 正しく計測できないとき

Q2 歩数が増えない

誤カウントを防ぐため、歩行開始から約 10 秒はカウントの表示が増えません。約 10 秒以上の歩行があると、それまでの歩行を追加して表示します。

Q3 使用中に [ERR] が表示された

センサーや内部回路が故障すると [ERR] (エラー) が表示され、センサー機能が使用できなくなります。

3 分以上経過しても表示が消えない、または何度も表示される場合は、センサーの故障が考えられます。

「修理に関するお問合せ先」(「取扱説明書」を参照)にご相談ください。

アラーム・時報

Q1 アラームが鳴らない

アラームがセットされていない可能性があります。アラームをセットしてください。

○ アラームをセットする

Q2 時報が鳴らない

時報がセットされていない可能性があります。時報をセットしてください。

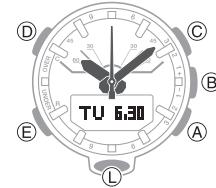
○ 時報をセットする

針の動きと画面の表示

Q1 現在のモードがわからない

現在のモードは、画面の表示で確認できます。モードは E ボタンで切り替えることができます。

○ モードを切り替える



Q2 すべての針が停止し、ボタン操作ができない

電池切れです。電池交換をしてください。

「修理お申込み先」(「取扱説明書」を参照)またはお買い上げの販売店に電池交換をお申し付けください。

○ 電池の交換時期

Q3 突然、針の動きが速くなった

以下の原因の場合は故障ではありません。通常の動きに戻るまでお待ちください。

- スマートフォンと接続して時刻を修正している。

○ 時計の時刻を自動で合わせる

Q4 現在時刻の表示が 1 時間や 30 分など区切りのよい時間でずれている

サマータイム設定が正しくない可能性があります。正しく設定してください。

○ ホーム都市のサマータイム設定を切り替える

Q5 針の時刻とデジタルの時刻が異なる

強い磁気や衝撃の影響で針の位置が合っていないことがあります。針の位置を補正してください。

○ 針の位置を補正する

- 手動で針の位置を補正したい場合は、以下をご覧ください。

○ 針の補正

電池

Q1 が点滅している

電池の電圧が低下すると、バッテリーアンジケーターが点滅します。
電池交換をしてください。

「修理お申込み先」(「取扱説明書」を参照) またはお買い上げの販売店に電池交換をお申し付けください。

○ 電池の交換時期

Q2 [RECOVER] が点滅している

電池残量が少ない、もしくはライトなどを短時間に連続使用すると電池残量が一時的に減少し、[RECOVER] を表示することがあります。この場合、時計以外の全機能が使用できなくなります。

長時間 [RECOVER] 表示が消えない、または何度も表示されるときは、電池残量が少なくなっている可能性があります。

「修理お申込み先」(「取扱説明書」を参照) またはお買い上げの販売店に電池交換をお申し付けください。

その他

Q1 「困ったときは」には知りたい情報がない

以下のウェブサイトをご確認ください。

<https://casio.jp/support/wat/>

注意事項

ご使用上の注意

●防水性

- 防水時計は時計の表面または裏ぶたに「WATER RESIST」または「WATER RESISTANT」と表示されていないものは防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようご使用をお避けください。

日常生活用防水

時計の表面または裏ぶたに表記	「BAR」表記無し
----------------	-----------

使用例

洗顔、雨	○
水仕事、水泳	✗
ウインドサーフィン	✗
スキンダイビング(素潜り)	✗

日常生活用強化防水

5気圧防水

時計の表面または裏ぶたに表記	5BAR
----------------	------

使用例

洗顔、雨	○
水仕事、水泳	○
ウインドサーフィン	✗
スキンダイビング(素潜り)	✗

10気圧防水

時計の表面または裏ぶたに表記	10BAR
----------------	-------

使用例

洗顔、雨	○
水仕事、水泳	○
ウインドサーフィン	○
スキンダイビング(素潜り)	○

20気圧防水

時計の表面または裏ぶたに表記	20BAR
----------------	-------

使用例

洗顔、雨	○
水仕事、水泳	○
ウインドサーフィン	○
スキンダイビング(素潜り)	○

- 専門的な潜水=スクーバダイビング(空気ボンベ使用)でのご使用をお避けください。

- 時計の表面または裏ぶたに「WATER RESIST」または「WATER RESISTANT」と表示されていないものは防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようご使用をお避けください。

- 防水構造の機種でも、以下のご使用をお避けください。

防水性能の低下や、ガラスの内側が曇る原因になります。

- 「水中で」および「時計に水分がついた状態で」りゅうずやボタンを操作すること
- 入浴のときに使用すること
- 温水プールやサウナなどの高温多湿な環境で使用すること
- 時計を手につけたまま手洗い／洗顔／家事などをするときに、石鹼や洗剤を使うこと

- 海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れを拭き取ってください。

- 防水性を保つために定期的(2~3年を目安)なパッキン交換をおすすめします。

- 電池交換の際、防水検査を行いますので、必ず「修理お申込み先」(「はじめにお読みください」を参照)またはお買い上げの販売店にお申し付けください(特殊な工具が必要とします)。

- 防水時計の一部にデザイン上、皮革バンドを使用しているモデルがありますが、皮革バンド付の状態で、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用をお避けください。

- 時計が急冷された場合など、ガラスの内側が曇ることがありますが、すぐに曇りがなくなるようであれば特に問題はありません。

夏季に高温の室外から室内に入りエアコンの吹き出し口付近で冷気にさらされたり、冬季に暖かい室内から出て屋外の冷気や雪に触れた場合など、外気と時計内部の温度差が大きくなることによって曇る時間が長くなることがあります。

なお、曇りが消えなかったり、時計内部に水が残っている場合は、ただちにご使用をやめて、修理を「修理お申込み先」(「はじめにお読みください」を参照)またはお買い上げの販売店にお申し付けください。

●バンド

●バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。

●バンドは、劣化やさびなどにより、切れたり外れたりすること、接合部のピンが飛び出したり抜け落ちたりすることがあります。これらは、時計の落下や紛失、けがの原因となります。バンドは常に手入れをして清潔な状態でご使用ください。

●バンドに弾力性がなくなる、ひび割れ、変色、緩み、接合部のピンの飛び出しや抜け落ちなどの異常がある場合は、ご使用をやめてください。点検・修理(有償)や新しいバンドとの交換を、「修理お申込み先」(「はじめにお読みください」を参照)またはお買い上げの販売店にお申し付けください。

●温度

●自動車のダッシュボードや暖房器具の近く等の高温になる場所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったり、故障の原因となります。

●+60°C以上の所に長時間放置すると液晶パネルに障害をきたすことがありますのでご注意ください。液晶表示は、0°C以下や+40°C以上では、表示が見えにくくなることがあります。

●ショック

●通常の使用状態でのショックや軽い運動(キャッチボール、テニスなど)には十分耐えますが、落したり、強くぶつけたりすると、故障の原因になります。

ただし、耐衝撃構造の時計の場合(G-SHOCK/BABY-G/G-MS)は腕につけたままでチェーンソーなどの強い振動や、激しいスポーツ(モトクロスなど)でのショックを受けても時計には影響ありません。

●磁気

●アナログ時計やコンビネーション(アナログとデジタル)時計は、針を動かすために磁石の性質を利用したモーターを駆動させる方式を採用していますが、このモーターは強い磁気(オーディオ機器のスピーカー、磁気ネックレス、携帯電話など)を発生する器具に近づけるとモーターの回転に影響を受け、針の「遅れ・進み・止まり・誤った時刻表示」などの原因となります。

●製品自体が磁気を帯びますと精度に影響を与えますのでお避けください。なお、極度に強い磁気(医療機器など)は誤動作や電子部品を破損する恐れがありますのでお避けください。

●静電気

- ・静電気により誤った時刻を表示したりします。また、極度に強い静電気は、電子部品を破損する恐れがあります。
- ・静電気により、一時的に液晶の点灯していない部分にじみ現象が発生することがあります。

●薬品類

- ・シンナー、ガソリン、各種溶剤、油脂またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類等が付着すると、樹脂ケース、樹脂バンド、皮革などに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

●保管

- ・長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などを拭き取り、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

●樹脂部品について

- ・長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が樹脂部品に移行したりすることができますので、濡れているときはすぐに水分を拭き取り、他の製品に密着させたままにしないでください。
- ・長時間、直射日光(紫外線)に当てたり、汚れが付着したまま放置すると色あせる場合があります。
- ・塗装部品は、使用状況(過度の外力、連続したこすれ、衝撃等)により磨耗し色落ちしたりすることができます。
- ・バンドにプリントがしてある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。
- ・蛍光商品は、長時間濡れたままにしておくと色が落ちる恐れがありますので、濡れているときはすぐに水分を拭き取って、乾かしてください。
- ・スケルトン(透明)仕様の部品は、汗や汚れ等の吸収や高温多湿への放置により変色を起こすことがあります。
- ・ご使用状態や保管環境により異なりますが、日々のご使用や長期保管によって劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

●皮革バンドについて

- ・長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が皮革バンドに移行したりすることができますので、濡れているときはすぐに柔らかい布などで軽く拭いて、他の製品に密着させたままにしないでください。
- ・長時間、直射日光(紫外線)に当てたり、汚れが付着したまま長時間放置すると色あせる場合があります。

ご注意:

皮革バンドは、摩擦・汚れにより色を移したり、色落ちすることがあります。

●金属部品について

- ・金属は、ステンレスやメッキ品でも汚れたままご使用になりますと、さびが発生することがあります。汗をかいたときはや水に濡らしたときは、柔らかい吸湿性の良い布などでよく拭き取った後に、通気性の良い場所に保管し、よく乾燥させてください。
- ・ときどき、柔らかい歯ブラシに中性洗剤を水で薄めた液や石鹼水をつけて、こすり洗いをしてください。その後、洗剤成分を水でよく洗い流し、柔らかい吸湿性の良い布などで水分を拭き取ってください。なお、洗うときは「調理用ラップを巻く」などして、時計本体に洗剤や石鹼水がかからないようにしてください。

●抗菌防臭バンドについて

- ・抗菌防臭バンドは汗などによる細菌の増殖を抑え、においの発生を防ぎ、常に清潔で快適な装着感が得られます。抗菌・防臭の効果を上げるために、バンドの汚れ、汗、水分等は吸湿性の良い柔らかい布で拭き取り、常に清潔にしてご使用ください。抗菌防臭バンドは微生物や細菌の増殖を抑えるためのもので、アレルギー等による皮膚のかぶれ等を抑えるものではありません。

●液晶表示について

- ・液晶表示は、見る方向によって表示が見えにくくなることがあります。

●データ保護について

- ・電池切れや電池交換および故障修理の場合、データ内容はすべて消えてしまいますのでご了承ください。また、故障・修理・電池交換等に起因するデータの消失による損害および逸失利益等につきましては、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。なお、大切なデータはノートなどに控えをとっておいてください。

●センサーについて

- ・本機のセンサーは精密機器ですので、絶対に分解しないでください。また、センサー部を細い棒などでついたり、ゴミ・ほこりなどが入らないようにご注意ください。なお、海水に浸したときは、必ず真水で洗い流してください。

万一、本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

お手入れについて

●お手入れのしかた

時計も衣類同様、直接身につけるものです。長くお使いいただくために、汚れ・汗・水分などは柔らかい布などでこまめに拭き取り、常に清潔な状態でご使用ください。

- 海水や泥がついた場合は、真水でよく洗い流してください。
- 金属バンドおよび樹脂バンドの金属部品は、柔らかい歯ブラシに中性洗剤を水で薄めた液や石鹼水をつけて、こすり洗いをしてください。その後、洗剤成分を水でよく洗い流し、柔らかい吸湿性の良い布などで水分を拭き取ってください。なお、洗うときは「調理用ラップを巻く」などして、時計本体に洗剤や石鹼水がかからないようにしてください。
- 樹脂バンドは、水で洗い、柔らかい布などで水分を拭き取ってください。また、樹脂バンドの表面にシミのような模様が発生することがあります。人体および衣類への影響はありません。布などで拭き取ってください。
- 皮革バンドは、水や汗がついた場合には、柔らかい布などで軽く拭いてください。
- リューズやボタンや回転ベゼルは、長期間操作しないと動きが悪くなる場合があります。ときどき、リューズや回転ベゼルを回したり、ボタンを押したりしてください。

●お手入れを怠ると

〈さび〉

- 時計で使用している金属はさびにくい性質ですが、汚れによりさびが発生します。
 - 汚れにより酸素が絶たれると、表面の酸化皮膜が維持できなくなり、さびが発生します。
- さびが発生すると、金属部分に鋭利な箇所ができたり、接合部のピンが飛び出したり抜け落ちたりすることがあります。異常に気がついた場合は、ご使用をやめて、修理(有償)を「修理お申込み先」(「はじめにお読みください」を参照)またはお買い上げの販売店にお申し付けください。
- 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやさびがしみ出して、衣類の袖を汚したり、皮膚がかぶれたり、時計の性能が劣化することがあります。

〈劣化〉

- 樹脂バンドや樹脂ベゼルは、汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に放置すると経年劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

〈かぶれ〉

- 皮膚の弱い方や体調により、かぶれたりすることがあります。特に、皮革バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをしてください。万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

電池交換について

- 電池交換は必ず「修理お申込み先」(「はじめにお読みください」を参照)またはお買い上げの販売店にお申し付けください。
- 電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。
- 電池交換の際、防水検査を行います。
- 樹脂(外装)部品は日々のご使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。電池交換ご依頼品の樹脂部分にひびなどの異常がある場合、破損の恐れがありますので作業を行わずにご返却する旨のご案内をさせていただくことがございます。あらかじめご了承ください。

●最初の電池

- お買い上げの時計に組み込まれている電池(モニター用電池)は、工場出荷時点に時計の機能や性能をチェックするために組み込まれたものです。
- お客様がお買い上げになるまでの期間に電池は消耗しますので、モニター用電池は「仕様一覧」に記載されている電池寿命に満たない場合があります。また、電池交換は保証期間内でも有料となります。

●電池の消耗

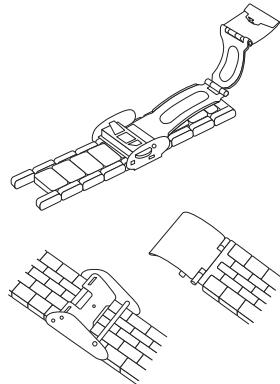
- 電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立つたり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」します。
- 消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

金属バンドの駒詰めについて

金属バンド(フリータイプの中留構造バンド*を除く)の駒詰めには専用の工具が必要となります。お取り扱いによる、部品の変形や破損、またはけが等を予防するためにも、お買い上げの販売店にご相談ください。なお、「修理お申込み先」(「はじめにお読みください」を参照)においても保証期間内は無償、保証期間経過後は有償にて承っております。詳しくは、「修理に関するお問合せ先」(「はじめにお読みください」を参照)へお問い合わせください。

* 中留をスライドさせて長さ調整するフリータイプのバンドでは、駒の取り外しはできません。

(例)



モバイルリンク機能に関する注意事項

●法律上のご注意

- 本機は、各国、地域の電波法の適合または認証を取得しております。電波法の適合または認証を取得していないエリアでご使用になると罰せられることがあります。詳しくは、カシオホームページをご覧ください。<https://world.casio.com/ce/BLE/>

- 各国の航空法により、航空機内でのご使用は制限されています。航空会社の指示に従ってください。

●安全上のご注意

⚠ 警告 無線について

- 病院内や航空機内では、病院や航空会社の指示に従ってください。本機からの電磁波などが計器類に影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。
- 高精度な電子機器または微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、使用しないでください。電子機器が誤作動するなどの影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。
- ペースメーカーなどをご使用の方は、本機を胸部から離してご使用ください。ペースメーカーなどに磁力の影響を与えることがあります。万一異常を感じたら直ちに本機を体より離し、医師に相談してください。

●モバイルリンク機能使用上のご注意

- スマートフォンは、本機の近くに置いてご使用ください。2m以内が目安です。ただし、周囲の環境(壁、家具など)や建物の構造によっては、通信可能距離が極端に短くなることがあります。
- 本機は、他の機器(電気製品、AV機器、OA機器など)の影響を受けることがあります。特に動作中の電子レンジには影響を受けやすく、その近くでは本機が正常に通信できないことがあります。逆に本機の影響で、テレビやラジオに雑音が入ったり、映像が乱れたりすることがあります。
- 本機のBluetoothは無線LAN対応機器と同一の周波数帯(2.4GHz)を使用しているため、お近くで使用すると電波干渉が発生し、本機と無線LAN対応機器の双方で通信速度の低下や雑音、通信不能の原因となる場合があります。

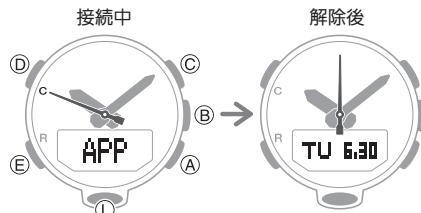
●本機からの電波を止める必要があるときは秒針が[R]または[C]を指しているときは、本機は電波を発信しています。

また、以下のときに自動で時計とスマートフォンが接続します。

- 自動時刻修正(1日4回)
- ミッションログ機能がオンのとき(1時間ごとのデータ転送)

病院内や航空機内など、電波の使用を禁止された区域でお使いになるときは、以下のようにご対応ください。

- 電波の発信を止める
Lボタン以外のボタンを押してBluetooth接続を解除してください。



●自動時刻修正を無効にする

CASIO WATCHESで時計とスマートフォンを同期しないように設定してください。

⌚ CASIO WATCHESで自動時刻修正を無効にする

無線に関するご注意

●本機は、電波法に基づいて工事設計認証を受けています。無線局の免許は不要です。

●本機は、工事設計認証を受けています。以下の事項は法律で罰せられることがあります。

- 分解および改造すること

●無線LANは、本機と同じ周波数帯(2.4GHz)を使用しています。これらを利用した製品と本機との間で、互いに電波障害を与えることがあります。

●下記のような環境では、電波状態が悪くなったり、電波が届かなくなったりします。

- 電子レンジ等の磁場、静電気、不要輻射電波の発生する機器の近く
- 鉄筋コンクリート(マンションなど)や鉄骨構造の建物内
- 大型金属製家具の近く
- 各無線機器の間に人が入ったり、間を人が横切るとき、腕を組んだりしたとき
- 腕時計とスマートフォン等が別々の部屋にある場合(障害物がある場合)

●電波を使用している関係上、第三者が故意または偶然に傍受することも考えられます。機密を要する重要な事柄や人命に関わることには使用しないでください。

<以下、ARIB(一般社団法人電波産業会)に準ずる>

●本機は2.4GHz帯を使用し、変調方式はDS-SS/FH-SS/OFDM方式、DS-FH,FH-OFDM複合方式以外の"その他の方式"です。また、想定される与干渉距離は約10mです。

2.4 XX1

●本機の使用周波数帯(2.4GHz)では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機と移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局との間で、電波干渉が発生した場合には、速やかに通信チャンネルを変更するか、使用する場所を変えるか、本機の使用を停止してください。
3. 不明な点がある場合やお困りの場合は、お買い上げの販売店または「修理に関するお問合せ先」(「取扱説明書」を参照)にお問い合わせください。